
低層住宅建築工事における
安全活動の実態に関するアンケート調査
調査報告書

2008年3月

独立行政法人 労働安全衛生総合研究所

「低層住宅建築工事における安全活動の実態に関するアンケート調査」
調査報告書
目次

本報告書の要旨-----	1
第1章 アンケート調査概要_____	3
1.1 調査の目的.....	3
1.2 調査対象件数.....	3
1.3 調査方法.....	3
1.4 調査期間.....	3
1.5 有効回答件数.....	3
1.6 調査項目.....	3
1.7 備考.....	3
第2章 調査結果_____	4
回答企業の属性 ①従業員.....	4
②直近の年間完成工事高.....	5
③本社所在地.....	6
問 1.....	7
問 2.....	8
問 3.....	9
問 4.....	10
問 5.....	14
問 6.....	17
問 7.....	23
問 8.....	24
問 9.....	25
問 10.....	26
問 11.....	34
問 12.....	37
問 13.....	40
問 14.....	41
問 15.....	42
問 16.....	44
問 17.....	46
問 18.....	48
資料 アンケート調査票_____	51

本報告書の要旨

1. 本調査の目的

本調査は木造住宅等低層住宅建築工事の自主的な安全活動の促進方策を検討することを目的に、低層住宅建築工事業者の安全活動の実態と課題を把握することを目的としている。

2. 調査方法

- 1) 調査対象：(社)プレハブ建築協会、(社)日本住宅建設産業協会、(社)全国中小建築工事業団体連合会、(社)日本ツーバイフォー建築協会、(社)日本木造住宅産業協会、輸入住宅産業協議会から無作為抽出した企業 799 社。
- 2) 調査方法：調査票を郵送し、企業の各社の労務安全管理担当に回答依頼
- 3) 調査期間：2008年2月14日～3月7日
- 4) 有効回答件数：回収件数 168 社(有効回答率 21.0%)

3. 調査協力

本調査は(社)住宅生産団体連合会の協力を受け実施した。

4. 主な調査結果

○企業の安全衛生管理活動の実態

企業における安全衛生管理業務担当について、小規模企業、中規模企業は「1人～2人」が最も多くなり、大規模企業は「10人以上」が最も多くなっている。

安全衛生管理業務担当の人数は3年前と比べ、すべての企業規模において「ほとんど変わらない」が最も多くなっている。

また、5年前の安全衛生活動への取り組みと比べ、小規模企業は「ほとんど変わらない」が最も多く、中規模企業、大規模企業は「より活発になった」が最も多くなっている。

○建設現場で安全対策を進める上での課題

建設現場で安全対策を進める必要がある作業と災害について、小規模企業は「建方・上棟・棟上作業/墜落・転落災害」が最も多くなり、中規模企業、大規模企業は「電動工具・機械使用作業/切断・折衝、打抜等の災害」が最も多くなっている。

安全対策を進める上での課題について、小規模企業、中規模企業は「協力会社の安全意識向上」が最も多くなり、大規模企業は「安全保護具着用、工具等の適正な使用の徹底」が最も多くなっている。

○建設現場の労働災害防止策

建設現場の労働災害防止において、「①適正な工期」については、小規模企業、中規模企業は「とても重要である」が最も多くなり、大規模企業は「やや重要である」が最も多くなっている。

「⑧敷地面積の広さ」については、小規模企業、大規模企業は「やや重要である」が最も多くなり、中規模企業は「どちらともいえない」が最も多くなっている。

○リスクアセスメント実施状況

リスクアセスメントの実施状況について小規模企業は「実施も検討もしていない」、中規模企業は「実施していないが、現在、実施を検討中である」、大規模企業は「実施している」が最も多くなっている。リスクアセスメント実施上の課題として、小規模企業は「リスク評価者の育成」、中規模企業は「リスク評価者の育成」、「作業員の意識向上」、大規模企業は「作業員の意識向上」、「繰り返し実施による定着」が最も多くなっている。

リスクアセスメントを実施していない理由について、小規模企業は「リスクアセスメントの実施方法がわからない」、中規模企業は「リスクアセスメントを実施する人的余裕」が最も多くなっている。

○安全教育、安全活動の実施状況

安全教育、安全活動の実施状況において、「②職長の安全教育」については、小規模企業、中規模企業は「実施している」が最も多く、大規模企業は「とても積極的に実施している」が最も多くなっている。

「④KY活動」については、小規模企業は「実施していない」、中規模企業は「多少は実施している」、大規模企業は「多少は実施している」、「ある程度積極的に実施している」が最も多くなっている。

「⑤安全パトロール」については、小規模企業は「実施している」、中規模企業は「ある程度積極的に

実施している」、大規模企業は「とても積極的に実施している」が最も多くなっている。

「⑧作業手順書の作成・遵守」については、小規模企業は「多少は実施している」、中規模企業は「実施している」、大規模企業は「ある程度積極的に実施している」が最も多くなっている。

○高齢者の労働災害

高齢者の労働災害について、小規模企業、中規模企業は「少し心配している」が最も多くなり、大規模企業は「かなり心配している」が最も多くなっている。心配される具体的な労働災害は、すべての企業規模において「墜落・転落災害」最も多くなっている。

○リフォーム工事の労働災害

リフォーム工事における労働災害について、小規模企業は「心配していない」、中規模企業は「少し心配している」、大規模企業は「少し心配している」、「かなり心配している」が最も多くなっている。心配される具体的な労働災害について、小規模企業は「撤去・解体時の災害」、中規模企業は「工期・予算・場所等の制約による災害」、大規模企業は「屋上・屋根からの墜落・転落災害」、「設備の不備による災害」が最も多くなっている。

○ヒューマンエラー

建設現場で発生するヒューマンエラー対策について、すべての企業規模において「強く思う」が最も多くなっている。具体的なヒューマンエラーとして、小規模企業、中規模企業は「不注意」が最も多くなり、「大規模企業は「危険軽視、慣れ」が最も多くなっている。

○足場先行法の課題

木造住宅現場での足場先行工法の課題について、小規模企業は「狭小地等での足場組み」が最も多くなり、中規模企業、大規模企業は「足場上作業の安全対策」が最も多くなっている。

○中小建築業者の自主的な安全活動促進のための方策

中小建築業者の自主的な安全活動を促進させるための方策として、すべての企業規模において「安全教育・指導」が最も多くなっている。次いで、小規模企業、中規模企業は「安全意識の向上」、大規模企業は「KY活動・リスクアセスメントの実施」が多くなっている。

第1章 アンケート調査概要

1.1 調査の目的

本調査は木造住宅等低層住宅建築工事の自主的な安全活動の促進方策を検討することを目的に、低層住宅建築工事業者の安全活動の実態と課題を把握することを目的としている。

1.2 調査対象件数

(社)プレハブ建築協会、(社)日本住宅建設産業協会、(社)全国中小建築工事業団体連合会、(社)日本ツーバイフォー建築協会、(社)日本木造住宅産業協会、輸入住宅産業協議会 の 6 団体から無作為抽出した企業 799 社。

1.3 調査方法

調査対象企業にアンケート調査票を郵送し、各社の労務安全管理担当者に記入、返送を依頼。

1.4 調査期間

2008年2月14日～3月7日

1.5 有効回答件数(有効回答率)

168社(21.0%)

1.6 調査項目

末尾添付アンケート調査票参照

1.7 備考

複数回答の設問は、構成比の合計が100%以上となる場合がある。

第2章 調査結果

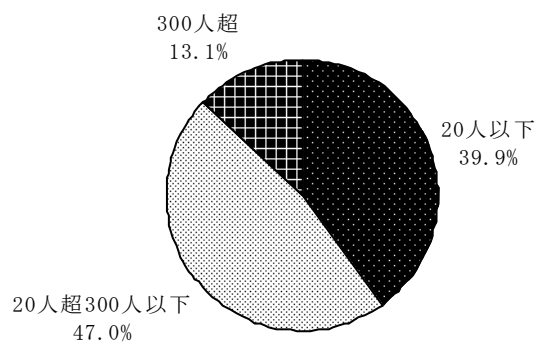
回答企業の属性

① 従業員

従業員数は全体として「20人以下」が39.9%(67件)、「20人超300人以下」が47.0%(79件)、「300人超」が13.1%(22件)となっている。

本調査では以降において、「20人以下」を小規模企業、「20人超300人以下」を中規模企業、従業員数「300人超」を大規模企業と定義し、企業別規模別の分析に使用する。

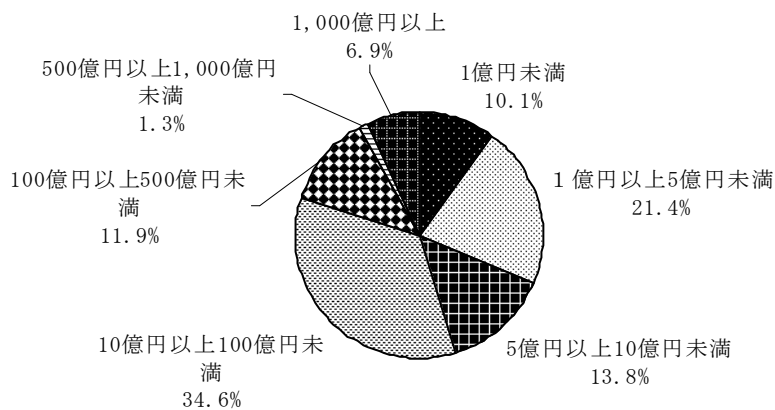
	結果	件数	構成比率(%)
1	20人以下	67	39.9
2	20人超300人以下	79	47.0
3	300人超	22	13.1
	全体	168	100.0



② 直近の年間完成工事高

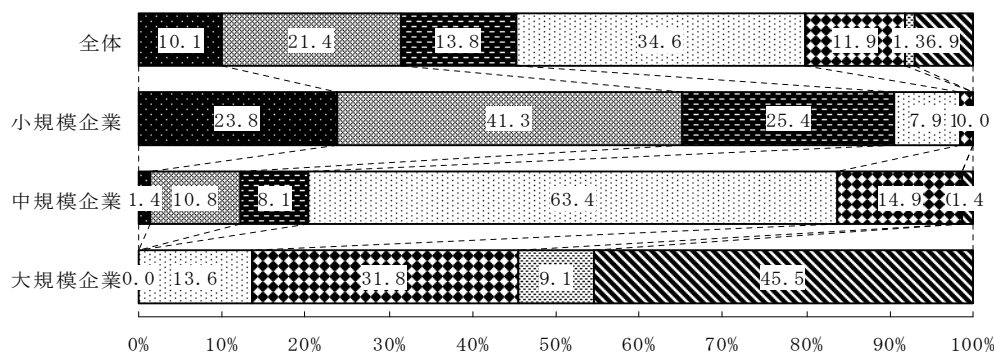
直近の年間完成工事高は、「1億円未満」が10.1%(16件)、「1億円以上5億円未満」が21.4%(34件)、「5億円以上10億円未満」が13.8%(22件)、「10億円以上100億円未満」が最も多く34.6%(55件)、「100億円以上」が合わせて20.1%(32件)となっている

結果		件数	構成比率(%)
1	1億円未満	16	10.1
2	1億円以上5億円未満	34	21.4
3	5億円以上10億円未満	22	13.8
4	10億円以上100億円未満	55	34.6
5	100億円以上500億円未満	19	11.9
6	500億円以上1,000億円未満	2	1.3
7	1,000億円以上	11	6.9
	不明	9	
	全体	159	100.0



企業規模が大きいほど年間完成工事高は大きく、大規模企業では「1,000億円以上」の企業が45.5%(10件)となっている。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】							
		1億円未満	1億円以上5億円未満	5億円以上10億円未満	10億円以上100億円未満	100億円以上500億円未満	500億円以上1,000億円未満	1,000億円以上	不明
全体	159	16	34	22	55	19	2	11	9
	100.0	10.1	21.4	13.8	34.6	11.9	1.3	6.9	
小規模企業	63	15	26	16	5	1	0	0	4
	100.0	23.8	41.3	25.4	7.9	1.6	0.0	0.0	
中規模企業	74	1	8	6	47	11	0	1	5
	100.0	1.4	10.8	8.1	63.4	14.9	0.0	1.4	
大規模企業	22	0	0	0	3	7	2	10	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	13.6	31.8	9.1	45.5	

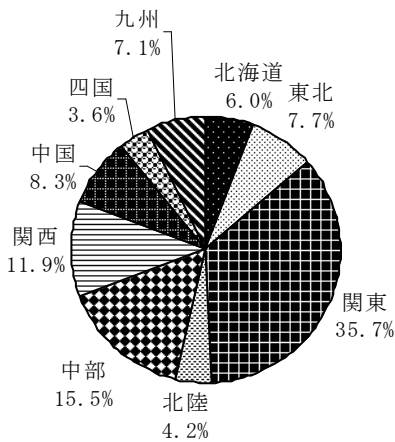


1億円未満
 1億円以上5億円未満
 5億円以上10億円未満
 10億円以上100億円未満
 100億円以上500億円未満
 500億円以上1,000億円未満
 1,000億円以上

③ 本社所在地

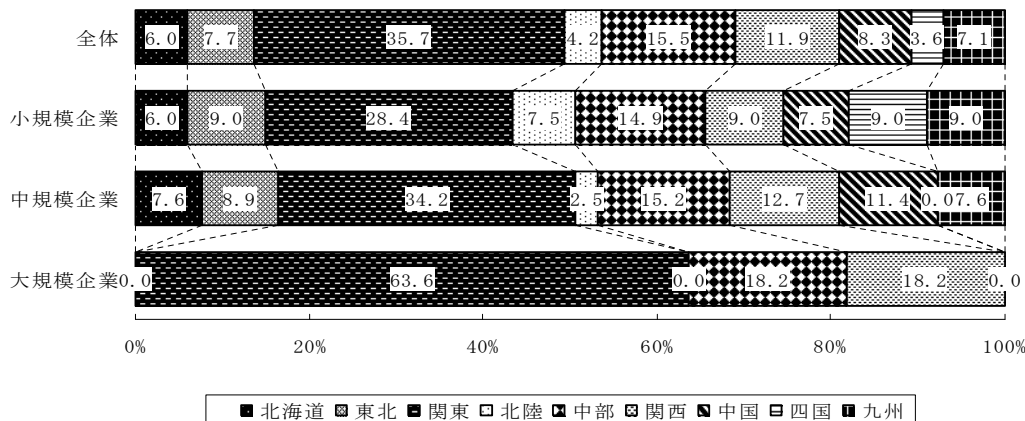
本社所在地は、「関東」が 35.7%(60 件)と最も多く、次いで「中部」が 15.5%(26 件)、「関西」が 11.9%(20 件)となっている。

結果		件数	構成比率(%)
1	北海道	10	6.0
2	東北	13	7.7
3	関東	60	35.7
4	北陸	7	4.2
5	中部	26	15.5
6	関西	20	11.9
7	中国	14	8.3
8	四国	6	3.6
9	九州	12	7.1
	全体	168	100.0



各企業規模いずれも「関東」のシェアが高く、小規模企業は 28.4%(19 件)、中規模企業は 34.2%(27 件)、大規模企業は 63.6%(14 件)となっている。

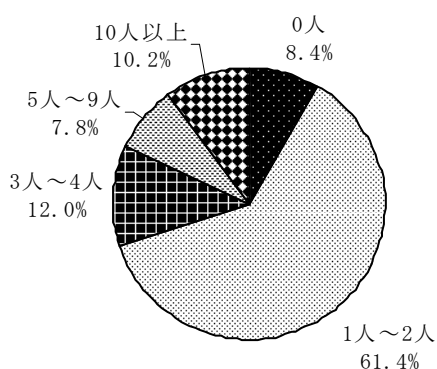
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】										
		北海道	東北	関東	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	不明	
全体	168	10	13	60	7	26	20	14	6	12	0	
	100.0	6.0	7.7	35.7	4.2	15.5	11.9	8.3	3.6	7.1	0	
小規模企業	67	4	6	19	5	10	6	5	6	6	0	
	100.0	6.0	9.0	28.4	7.5	14.9	9.0	7.5	9.0	9.0	0	
中規模企業	79	6	7	27	2	12	10	9	0	6	0	
	100.0	7.6	8.9	34.2	2.5	15.2	12.7	11.4	0.0	7.6	0	
大規模企業	22	0	0	14	0	4	4	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	63.6	0.0	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	0	



問1. 貴社には、店社(本支店、営業所等)で安全衛生管理業務を担当(専任はもとより他業務との兼務も含みます)している人は何人いますか。〔〇はひとつ〕

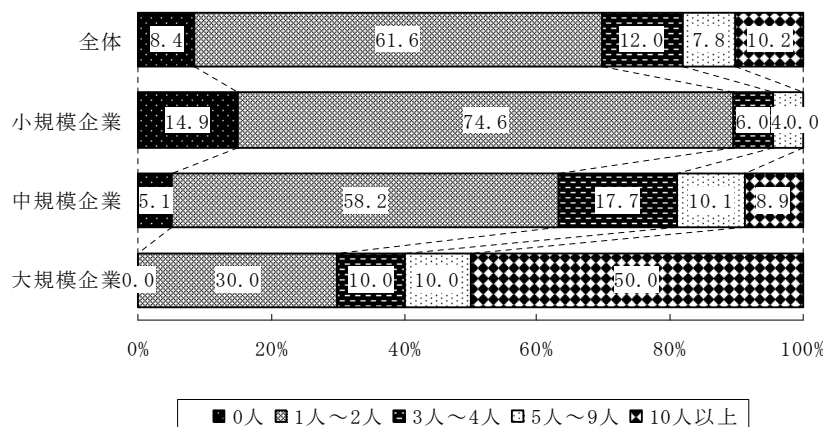
企業における安全衛生管理業務担当は、「1人～2人」が61.4%(102件)と最も多く、次いで「3人～4人」が12.0%(20件)、「10人以上」が10.2%(17件)となっている。

結果		件数	構成比率(%)
1	0人	14	8.4
2	1人～2人	102	61.4
3	3人～4人	20	12.0
4	5人～9人	13	7.8
5	10人以上	17	10.2
	不明	2	
	全体	166	100.0



会社における安全衛生管理業務担当は、小規模企業、中規模企業ともに「1人～2人」が最も多く、小規模企業は74.6%(50件)、中規模企業は58.2%(46件)となっている。大規模企業は「10人以上」が最も多く、50.0%(10件)となっている。

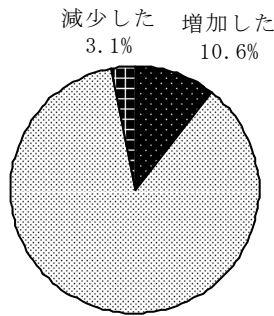
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
		0人	1人～2人	3人～4人	5人～9人	10人以上	不明
全体	166	14	102	20	13	17	2
	100.0	8.4	61.4	12.0	7.8	10.2	
小規模企業	67	10	50	4	3	0	0
	100.0	14.9	74.6	6.0	4.5	0.0	
中規模企業	79	4	46	14	8	7	0
	100.0	5.1	58.2	17.7	10.1	8.9	
大規模企業	20	0	6	2	2	10	2
	100.0	0.0	30.0	10.0	10.0	50.0	



問2. 安全衛生管理業務を担当している人の数は3年前と比べて変わりましたか。[○はひとつ]

3年前と比べた安全衛生管理業務担当の数は、「ほとんど変わらない」が86.3%(138件)が圧倒的に多く、「増加した」が10.6%(17件)、「減少した」が3.1%(5件)となっている。

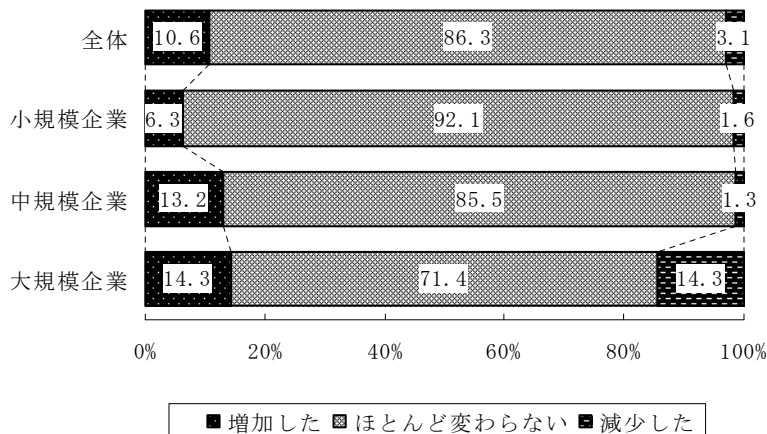
結果		件数	構成比率(%)
1	増加した	17	10.6
2	ほとんど変わらない	138	86.3
3	減少した	5	3.1
	不明	8	
	全体	160	100.0



ほとんど変わらない
86.3%

3年前と比べた安全衛生管理業務担当の数は、小規模企業、中規模企業ともに「減少した」は1社のみとなっている。それに対し、大規模企業は14.3%(3件)と若干多くなっている。一方、「増加した」も大規模企業が14.3%(3件)と若干多くなっている。

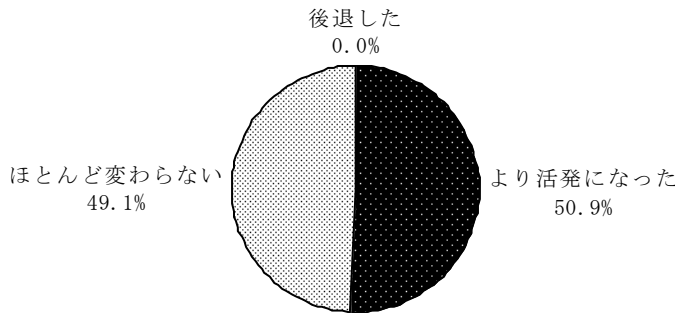
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】			
		増加した	ほとんど 変わらない	減少した	不明
全体	160 100.0	17 10.6	138 86.3	5 3.1	8
小規模企業	63 100.0	4 6.3	58 92.1	1 1.6	4
中規模企業	76 100.0	10 13.2	65 85.5	1 1.3	3
大規模企業	21 100.0	3 14.3	15 71.4	3 14.3	1



問3. 貴社の安全衛生管理活動への取り組みは、5年前と比べて変わりましたか。〔○はひとつ〕

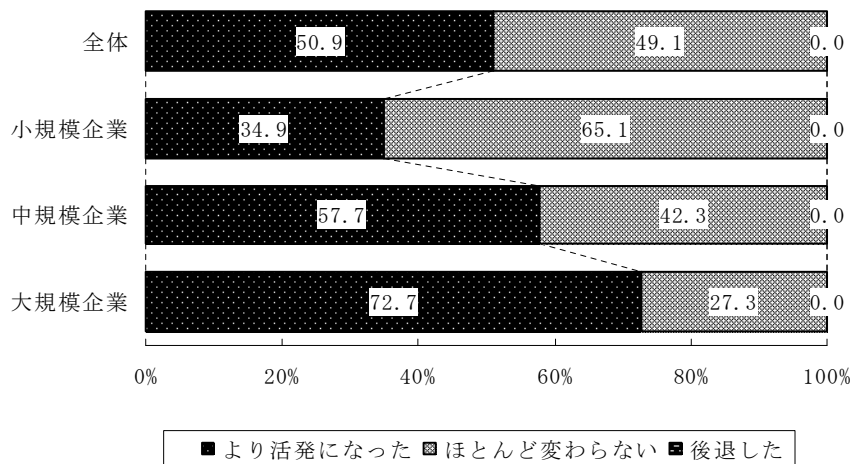
5年前と比べた安全衛生管理活動への取り組みは、「より活発になった」が50.9%(83件)、「ほとんど変わらない」が49.1%(80件)とほぼ同等の結果となった。「後退した」との回答は0件となる。

結果		件数	構成比率(%)
1	より活発になった	83	50.9
2	ほとんど変わらない	80	49.1
3	後退した	0	0.0
	不明	5	
	全体	163	100.0



5年前と比べた安全衛生管理活動への取り組みについて、小規模企業は「ほとんど変わらない」が65.1%(41件)が最も多くなる。中規模企業、大規模企業は「より活発になった」が最も多くなり、中規模企業は57.7%(45件)、大規模企業は16件(72.7%)となっている。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】			
		より活発に なった	ほとんど 変わらない	後退した	不明
全体	163 100.0	83 50.9	80 49.1	0 0.0	5
小規模企業	63 100.0	22 34.9	41 65.1	0 0.0	4
中規模企業	78 100.0	45 57.7	33 42.3	0 0.0	1
大規模企業	22 100.0	16 72.7	6 27.3	0 0.0	0



問4. 最も重点的に安全対策を進める必要があるのは、どのような作業のどのような労働災害についてですか。具体的に2件ご記入下さい。

安全対策を進める必要がある作業/災害について158社から352件の記述回答が得られた。これらを作業、災害ごとの36項目に分類した。すべての企業規模において「建方・上棟・棟上作業/墜落転落災害」が最も多く、小規模企業は31.1%(19件)、中規模企業は36.0%(27件)、大規模企業は36.4%(8件)となっている。

		【上段：回答数 下段：構成比(%)】													
合計		建方・上棟・棟上作業				電動工具・ 機械使用 作業	高所作業		脚立等上作業		屋根作業		足場上作業		
		墜落 災害・ 転	下飛 災来 害・ 落	よ重 る機 災等 害に	そ 他	等衝切 の、断 災打・ 害抜折	落墜 災害・ 転	下飛 災来 害・ 落	落墜 災害・ 転	下飛 災来 害・ 落	落墜 災害・ 転	下飛 災来 害・ 落	落墜 災害・ 転	下飛 災来 害・ 落	
全体	158	84				54	34		31		29		24		
	100.0	53.2				34.2	21.5		19.6		18.4		15.2		
	158	54	20	5	5	54	24	10	26	5	20	9	20	4	
	100.0	34.2	12.7	3.2	3.2	34.2	15.2	6.3	16.5	3.2	12.7	5.7	12.7	2.5	
小規模企業	61	19	9	1	2	14	9	3	12	3	7	2	7	4	
	100.0	31.1	14.8	1.6	3.3	23.0	14.8	4.9	19.7	4.9	11.5	3.3	11.5	6.6	
中規模企業	75	27	9	3	3	30	12	7	6	1	8	4	9	0	
	100.0	36.0	12.0	4.0	4.0	40.0	16.0	9.3	8.0	1.3	10.7	5.3	12.0	0.0	
大規模企業	22	8	2	1	0	10	3	0	8	1	5	3	4	0	
	100.0	36.4	9.1	4.5	0.0	45.5	13.6	0.0	36.4	4.5	22.7	13.6	18.2	0.0	
合計		外壁作業		開口部 周辺 作業	外部作業				土工事掘削等作 業		足場組立等 作業		その他	不明	
		落墜 災害・ 転	下飛 災来 害・ 落	落墜 災害・ 転	落墜 災害・ 転	下飛 災来 害・ 落	転 倒 災 害	よ重 る機 災等 害に	よ重 る機 災等 害に	転 倒 災 害	落墜 災害・ 転	下飛 災来 害・ 落			
全体	158	19		13	12				11		11				
	100.0	12.0		8.2	7.6				7.0		7.0				
	158	11	8	13	7	3	1	1	10	1	9	2			
	100.0	7.0	5.1	8.2	4.4	1.9	0.6	0.6	6.3	0.6	5.7	1.3			
小規模企業	61	5	2	3	4	2	1	0	4	1	1	0			
	100.0	8.2	3.3	4.9	6.6	3.3	1.6	0.0	6.6	1.6	1.6	0.0			
中規模企業	75	4	4	6	1	1	0	1	6	0	7	2			
	100.0	5.3	5.3	8.0	1.3	1.3	0.0	1.3	8.0	0.0	9.3	2.7			
大規模企業	22	2	2	4	2	0	0	0	0	0	1	0			
	100.0	9.1	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0			
合計		解体作業				荷上げ・ 荷下ろし 作業		資材加 工等 作業	組立 作業	現場片 づけ 作業	工場での製材 等作業	炎天下での 作業	その他	不明	
		害釘 踏 み 災	よ重 る機 災等 害に	落墜 災害・ 転	下飛 災来 害・ 落	落 下 災 害	よ重 る機 災等 害に	よ等電 る使動 災用工 害に具	落墜 災害・ 転	転 倒 災 害	断指 災等 害の 切	炎天下 での 熱災 中 害等			
全体	158	6				5		4	3	3	1	1	7		
	100.0	3.8				3.2		2.5	1.9	1.9	0.6	0.6	4.4		
	158	2	2	1	1	3	2	4	3	3	1	1	7	10	
	100.0	1.3	1.3	0.6	0.6	1.9	1.3	2.5	1.9	1.9	0.6	0.6	4.4		
小規模企業	61	2	1	1	1	1	0	2	0	2	1	0	5	6	
	100.0	3.3	1.6	1.6	1.6	1.6	0.0	3.3	0.0	3.3	1.6	0.0	8.2		
中規模企業	75	0	1	0	0	2	2	1	1	1	0	1	2	4	
	100.0	0.0	1.3	0.0	0.0	2.7	2.7	1.3	1.3	1.3	0.0	1.3	2.7		
大規模企業	22	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0		

【記述回答例】（括弧内は回答企業規模）

- 建方・上棟・棟上作業/墜落・転落災害(54 件)
 - ・木造住宅上棟/墜転落(小規模)
 - ・建て方作業/墜落、転落(中規模)
 - ・建方や屋根工事などの高所作業/墜転落災害(大規模)
- 建方・上棟・棟上作業/飛来・落下災害(20 件)
 - ・新築における建方/高所作業による落下 頭を注意する(小規模)
 - ・建方作業/落下災害(中規模)
 - ・外部作業（上棟、屋根工事）/落下(大規模)
- 建方・上棟・棟上作業/重機等による災害(5 件)
 - ・木造の建方作業/クレーン作業による材料転落、人的接触(小規模)
 - ・レッカー作業による建方/玉掛の不備による落下物事故(中規模)
 - ・建方作業/重機災害、墜落災害(大規模)
- 建方・上棟・棟上作業/その他(5 件)
 - ・上棟時/作業前には安全に対して朝礼を行う。(小規模)
 - ・上棟時/安全対策(中規模)
- 電動工具・機械使用作業/切断・折衝、打抜等の災害(54 件)
 - ・電動工具作業/不適切な使用による(小規模)
 - ・電気丸ノコによる部材の切断作業/キックバックによる重傷災害(中規模)
 - ・丸ノコ、サンダー作業/切れ、こすれ(大規模)
- 高所作業/墜落・転落災害(24 件)
 - ・高所作業/転落、墜落(小規模)
 - ・高所作業、仮設工事（足場等）/落下、墜落(中規模)
 - ・高所及び脚立作業/墜・転落(大規模)
- 高所作業/飛来・落下災害(10 件)
 - ・高所作業/落下(小規模)
 - ・屋外高所作業、建方時軸組上の作業/転落等、飛来落下等(中規模)
- 脚立等上作業/墜落・転落災害(26 件)
 - ・床より 50～60 c m 上での作業/脚立への昇降時の転落(小規模)
 - ・脚立作業時/墜落災害(中規模)
 - ・内部作業（脚立作業、工具による作業）/脚立踏み外し、釘打ち機、丸鋸による切傷(大規模)
- 脚立等上作業/飛来・落下災害(5 件)
 - ・足場、キャタツを使用する作業/落下事故(小規模)
 - ・脚立使用時転倒/落下(中規模)
 - ・脚立作業/落下災害(大規模)
- 屋根作業/墜落・転落災害(20 件)
 - ・屋根作業時/墜落災害(小規模)
 - ・小屋組組立 屋根葺作業/転落 墜落(中規模)
 - ・外部、内部、高所作業（建方、屋根、外壁）/墜落、事故、災害(大規模)

- 屋根作業/飛来・落下災害(9件)
 - ・高所作業、屋根工事、外壁工事/落下事故(小規模)
 - ・屋根・仕上工事/落下事故(中規模)
 - ・屋根・外壁張等の上下同時作業/飛来・落下(大規模)

- 足場上作業/墜落・転落災害(20件)
 - ・足場上での作業、高所作業/墜落災害(小規模)
 - ・外部足場での高所作業/墜落事故(中規模)
 - ・梁桁上や開口部付近、足場上などでの高所作業/墜落災害(大規模)

- 足場上作業/飛来・落下災害(4件)
 - ・足場上、又は屋根上での作業/人、物の落下(小規模)
 - ・造作中/足場からの落下、機械道具による災害(小規模)

- 外壁作業/墜落・転落災害(11件)
 - ・外装作業/墜落災害(小規模)
 - ・外壁・屋根工事、建方時 落下防止策/外部転落災害(中規模)
 - ・外部、内部、高所作業(建方、屋根、外壁)/墜落、事故、災害(大規模)

- 外壁作業/飛来・落下災害(8件)
 - ・高所作業、屋根工事、外壁工事/落下事故(小規模)
 - ・クレーンに依る構造パネルの組立て作業/玉掛けの不充分による落下事故(中規模)
 - ・屋根・外壁張等の上下同時作業/飛来・落下(大規模)

- 開口部周辺作業/墜落・転落災害(13件)
 - ・吹抜け部作業/転落(小規模)
 - ・建方及造作工事の吹抜、階段等開口部の作業/墜落、転落災害(中規模)
 - ・階級部分、吹抜部分/墜落事故(大規模)

- 外部作業/墜落・転落災害(7件)
 - ・外部工事(瓦フキ、外壁、軒天、樋)/落下、墜落(小規模)
 - ・外部作業/足場からの墜落(中規模)
 - ・屋根及び外部作業/墜落災害(大規模)

- 外部作業/飛来・落下災害(3件)
 - ・外部工事全般/物品落下(小規模)
 - ・クレーン作業/吊り荷の落下(中規模)

- 外部作業/転倒災害(1件)
 - ・屋外作業/転倒事故(小規模)

- 外部作業/重機等による災害(1件)
 - ・バックホウ、クレーン使用する作業/建設機械、クレーン災害(中規模)

- 土工事掘削等作業/重機等による災害(10件)
 - ・掘削等作業、重機作業/重機との接触(小規模)
 - ・重機作業(作業員と混在)/踏まれる、飛ばされる、挟まれる(中規模)

- 土工事掘削等作業/転倒災害(1件)
 - ・基礎工事・転倒災害(小規模)

- 足場組立等作業/墜落・転落災害(9件)
 - ・足場の設置/墜落(小規模)
 - ・高所作業、仮設工事(足場等)/落下、墜落(中規模)
 - ・ふきぬけ回りの作業、足場作業/転落(大規模)
- 足場組立等作業/飛来・落下災害(2件)
 - ・外壁等、外部足場作業/落下事故(中規模)
- 解体作業/釘踏み災害(2件)
 - ・解体工事/釘踏み事故(小規模)
- 解体作業/重機等による災害(2件)
 - ・解体作業/重機との接触(中規模)
- 解体作業/墜落・転落災害(1件)
 - ・解体作業 低位置での壁はがし等/脚立からの転落防止(小規模)
- 解体作業/飛来・落下災害(1件)
 - ・増築・改築などの作業/解体による落下物 釘などを踏むことが有る(小規模)
- 荷上げ・荷下ろし作業/落下災害(3件)
 - ・材料の搬入(ボード等)・材料の落下災害(小規模)
 - ・荷上作業・重機荷上の材料の落下(中規模)
- 荷上げ・荷下ろし作業/重機等による災害(2件)
 - ・荷土作業/重機災害、玉掛け玉はずし(中規模)
- 資材加工等作業/電動工具等使用による災害(4件)
 - ・造作中/足場からの落下、機械道具による災害(小規模)
 - ・造作工事/使用電動工具による事故(中規模)
 - ・建方、造作工事中の電動・エア工具使用の作業/電動・エア工具災害(大規模)
- 組立作業/墜落・転落災害(3件)
 - ・建設現場における組立作業(高所)/墜落(中規模)
 - ・組立作業/転落(大規模)
- 現場片づけ作業/転倒災害(3件)
 - ・工事中清掃(1日5回清掃)/つまづき、転倒(小規模)
 - ・片付、清ソウの徹底/手元、足元が悪ければ仕事も雑・ケガもする。(中規模)
- 工場での製材等作業/指等の切断災害(1件)
 - ・工場での製材/指等の切断(小規模)
- 炎天下での作業/熱中症等の災害(1件)
 - ・夏場炎天下での作業/左官工が、炎天下建物南壁面モルタルを塗っていたところ気分が悪くなり、意識がなくなる熱中症。(中規模)

問5. 建設現場の安全対策を進める上で、最も重要な課題は何ですか。具体的にご記入下さい。

安全対策を進める上で、最も重要な課題について150社から183件の記述回答が得られた。これらの課題を19項目に分類した。小規模企業、中規模企業は「協力会社の安全意識向上」が最も多く、小規模企業は22.4%(13件)、中規模企業は16.9%(12件)となっている。大規模企業は、「安全保護具着用、工具等の適正な使用の徹底」が最も多く、19.0%(4件)となっている。

		安全衛生活動						安全意識の向上					
合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】	職場環境の整備・作業環境	作業手順の徹底・職作	KY活動	安全実施ミーティング	リスクアセスメント	健康管理	協力会社の安全意識	一般請負者の安全意識	元請関係者の安全意識			
		150	49										
100.0	32.7												
150	18	11	9	6	3	2	28	17	3				
100.0	12.0	7.3	6.0	4.0	2.0	1.3	18.7	11.3	2.0				
小規模企業	58	7	4	1	3	0	2	13	8	0			
100.0	12.1	6.9	1.7	5.2	0.0	3.4	22.4	13.8	0.0				
中規模企業	71	10	5	7	2	2	0	12	7	2			
100.0	14.1	7.0	9.9	2.8	2.8	0.0	16.9	9.9	2.8				
大規模企業	21	1	2	1	1	1	0	3	2	1			
100.0	4.8	9.5	4.8	4.8	4.8	0.0	14.3	9.5	4.8				
合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】	災害防止				安全衛生教育		止ヒューマンエラー防	足場先行法の実施	定(工事)期・予(算)化(設)正	その他	不明	
		用具等の適正な使用	防墜・転落災害の	災害防止その他	危険作業場の排除	作業員への指導・教育	職長への指導・教育						
150	34					23		8	6	3	12	18	
100.0	22.7					15.3		5.3	4.0	2.0	8.0		
150	18	10	4	2	20	3	8	6	3	12	18		
100.0	12.0	6.7	2.7	1.3	13.3	2.0	5.3	4.0	2.0	8.0			
小規模企業	58	8	2	0	6	1	3	4	1	5	9		
100.0	13.8	3.4	0.0	3.4	10.3	1.7	5.2	6.9	1.7	8.6			
中規模企業	71	6	5	1	12	2	3	1	1	7	8		
100.0	8.5	7.0	1.4	0.0	16.9	2.8	4.2	1.4	1.4	9.9			
大規模企業	21	4	3	0	2	0	2	1	1	0	1		
100.0	19.0	14.3	14.3	0.0	9.5	0.0	9.5	4.8	4.8	0.0			

【記述回答例】(括弧内は回答企業規模)

○職場環境・作業環境の整備(18件)

- ・現場内の整理・整頓と作業通路の確保(小規模)
- ・現場の作業環境整理点検の為、毎月、安全パトロール(中規模)
- ・作業員の安全意識と(安全帯等の)安全に関する設備(大規模)

○作業手順職作成・遵守の徹底(11件)

- ・作業服装装備の完備着用、作成手順の厳守(小規模)
- ・作業手順の徹底(中規模)
- ・協力業者への指導・教育・安全作業(作業手順の遵守)の意識付け。(大規模)

- KY活動(9件)
 - ・危険予知と作業者の協力(小規模)
 - ・現場において日々危険を見つけ出し、対策を講じ予防すること、KY活動の継続(中規模)
 - ・1. 職長等安全管理ラインの確立 2. KYTによる危険予防感性の向上(大規模)
- 安全ミーティング実施(6件)
 - ・高所作業でのヘルメット着帽 ・作業前の話し合い(小規模)
 - ・作業前に保護具、工具、機械等の点検及正しい使い方 作業中の仲間や他職人の連絡や合図(中規模)
 - ・自分自身が危険な状態に置かれているという認識の無さから来るヒューマンエラー 安全対策は自分の事だと自覚させる。・元請(監督者)と工事店(作業者)との意思の疎通→出来る事を決めて確実にする事(大規模)
- リスクアセスメント実施(3件)
 - ・リスクアセスメントを活用した現地KY活動を行う(中規模)
 - ・従来の安全対策は元請からの一方通行で施策を打っても守らなくてはならない現場従事者が真の意味を理解していない為、不安全状態の放置につながっていた。今後最も重要な課題は全員参加のリスクアセスメント。(大規模)
- 健康管理(2件)
 - ・ツールボックスミーティング 休憩時間に話しをする。朝一人一人の体調をみる。(小規模)
- 協力会社の安全意識向上(28件)
 - ・各職方の安全に対する意識の向上(小規模)
 - ・作業員一人一人の安全意識向上(中規模)
 - ・作業者が安全意識を高め、今日の作業内容と現場の状況を認識し、安全対策の遵守した作業を行うってもらう事(大規模)
- 元請・協力関係者全般の安全意識向上(17件)
 - ・現場にかかわる全ての人の意識の統一(小規模)
 - ・作業の危険に対する意識、管理者の危険に対する意識、KY(危険予知)(中規模)
 - ・安全最優先の職場及び企業風土(大規模)
- 元請関係者の安全意識向上(3件)
 - ・起こりやすい事例研究をし、現場監督の能力・知識を向上させ、現場で職人にコミュニケーションを用いて注意を払う。今後職人へも教育を実施させる。(中規模)
 - ・拠点責任者や施工店経営者(トップ)の意識レベルの高さ(大規模)
- 安全保護具着用、工具等の適正な使用の徹底(18件)
 - ・安全保護具の着用、使用の徹底(小規模)
 - ・毎日の電動工具使用時の安全チェックなど(中規模)
 - ・脚立及び電動工具の使用方の指導(大規模)
- 墜落・転落災害の防止(10件)
 - ・外部足場の整備、点検、建方時安全ネットの架設、先組足場(小規模)
 - ・落下事故の防止(足場、脚立、段差)(中規模)
 - ・転落防止措置。落下危険のある箇所への囲いの設置、親網の利用など。(大規模)
- 災害防止その他(4件)
 - ・同じ状況での再発防止に対する検討と、職方への周知・徹底を計る。(中規模)
 - ・墜転落の防止と工具の安全な使用、協力会社、職人の安全衛生活動の意識の高さ(大規模)
- 危険作業場所の排除(2件)
 - ・仮足場等の不安定要素の排除と足場安全確認(小規模)

- 作業員への指導・教育(20件)
 - ・外部作業時の作業員教育 大工等の釘打機、電動工具の災害防止(小規模)
 - ・新規入場者教育の徹底(中規模)
 - ・現場管理者の安全管理能力、意識の向上及びその為の研修、作業員一人一人の意識の向上及びその為の研修(大規模)

- 職長への指導・教育(3件)
 - ・現場責任者の指導(小規模)
 - ・職長、作業員の安全教育(中規模)

- ヒューマンエラー防止(8件)
 - ・慣れが一番恐いので何時も集中して作業を行うように指導(小規模)
 - ・ヒューマンエラーの撲滅(中規模)
 - ・慣れによる危険予知の欠如(大規模)

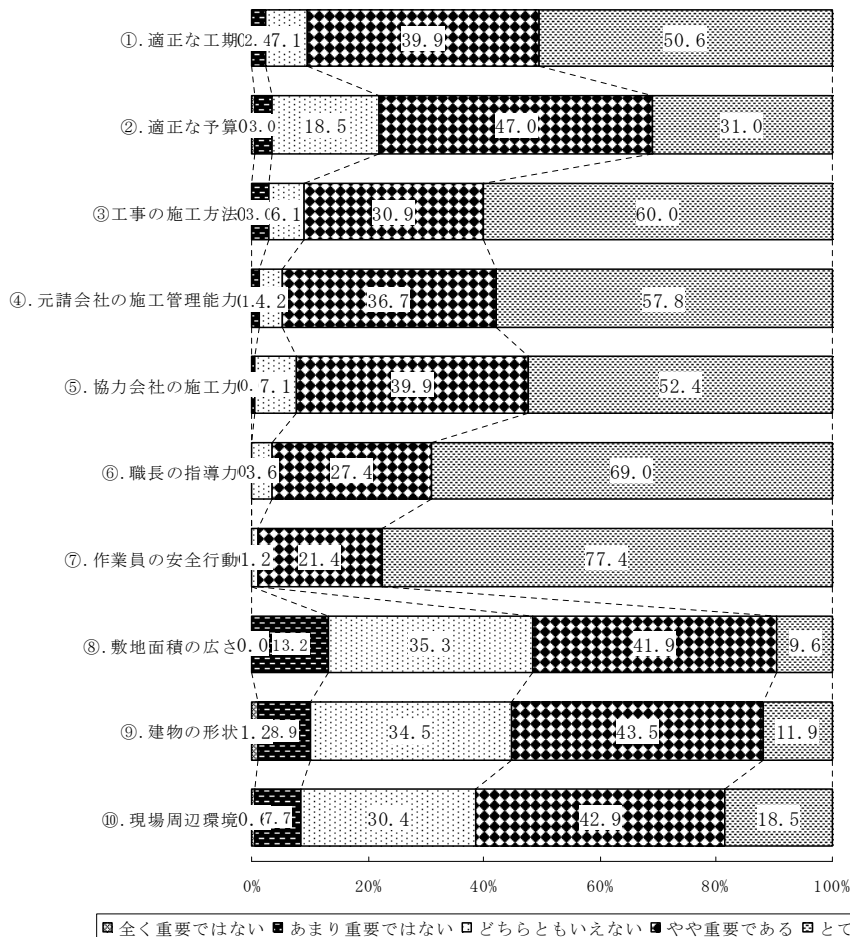
- 足場先行法の実施(6件)
 - ・建前作業時からの足場、重機の設置(小規模)
 - ・作業場内の整理整頓を励行し、作業の指示及び報告を徹底する。建方作業は先行足場を原則とする。又、レッカー作業では必ず合図をする様徹底する屋根工事では親網を張り、安全帯の使用を徹底する。(中規模)
 - ・上棟時の足場設置計画(大規模)

- 工事の平準化(適正な工期・予算の設定)(3件)
 - ・工期をいそがない、油断させない(小規模)
 - ・適正な工期(中規模)
 - ・予算の確保(大規模)

問6. 建設現場の労働災害を防止するため、以下の①～⑩はどの程度重要だと思いますか。
 [それぞれ〇はひとつ]

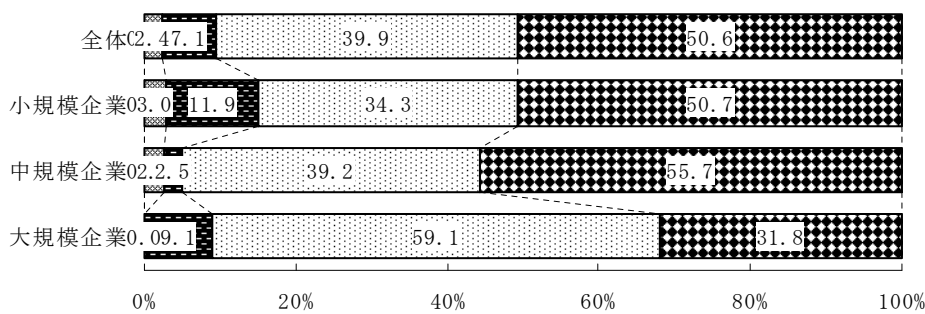
建設現場の労働災害防止において、「とても重要である」とする割合が高いのは、「⑦作業員の安全行動」77.4%(130件)、「⑥職長の指導力」69.0%(116件)であり、いずれも「やや重要である」を加えると95%を超える。次いで「とても重要である」、「やや重要である」を加えた割合が高いのは、「④元請会社の施工管理能力」94.5%(157件)、「⑤協力会社の施工力」92.3%(155件)となっている。

	全体	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	とても重要である	
①. 適正な工期	168	0	4	12	67	85	0
	100.0	0.0	2.4	7.1	39.9	50.6	
②. 適正な予算	168	1	5	31	79	52	0
	100.0	0.6	3.0	18.5	47.0	31.0	
③. 工事の施工方法	165	0	5	10	51	99	3
	100.0	0.0	3.0	6.1	30.9	60.0	
④. 元請会社の施工管理能力	166	0	2	7	61	96	2
	100.0	0.0	1.2	4.2	36.7	57.8	
⑤. 協力会社の施工力	168	0	1	12	67	88	0
	100.0	0.0	0.6	7.1	39.9	52.4	
⑥. 職長の指導力	168	0	0	6	46	116	0
	100.0	0.0	0.0	3.6	27.4	69.0	
⑦. 作業員の安全行動	168	0	0	2	36	130	0
	100.0	0.0	0.0	1.2	21.4	77.4	
⑧. 敷地面積の広さ	167	0	22	59	70	16	1
	100.0	0.0	13.2	35.3	41.9	9.6	
⑨. 建物の形状	168	2	15	58	73	20	0
	100.0	1.2	8.9	34.5	43.5	11.9	
⑩. 現場周辺環境	168	1	13	51	72	31	0
	100.0	0.6	7.7	30.4	42.9	18.5	



建設現場の労働災害防止における、「①適正な工期」については、小規模企業、中規模企業ともに「とても重要である」が最も多くなり、小規模企業は50.7%(34件)、中規模企業は55.7%(44件)となっている。大規模企業は、「やや重要である」が最も多く、59.1%(13件)となっている。

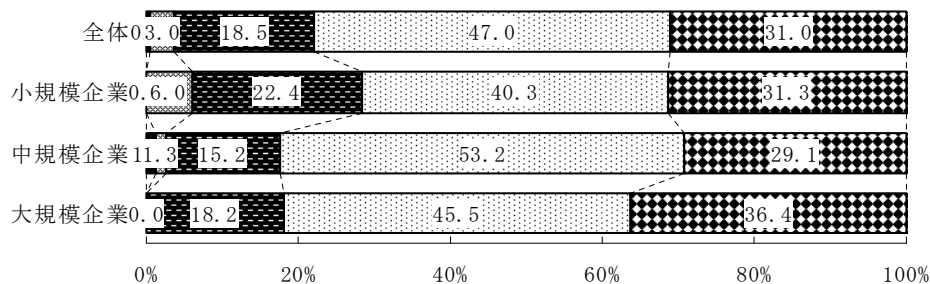
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	とても重要である	
全体	168	0	4	12	67	85	0
	100.0	0.0	2.4	7.1	39.9	50.6	
小規模企業	67	0	2	8	23	34	0
	100.0	0.0	3.0	11.9	34.3	50.7	
中規模企業	79	0	2	2	31	44	0
	100.0	0.0	2.5	2.5	39.2	55.7	
大規模企業	22	0	0	2	13	7	0
	100.0	0.0	0.0	9.1	59.1	31.8	



■ 全く重要ではない ■ あまり重要ではない ■ どちらともいえない □ やや重要である ■ とても重要である

建設現場の労働災害防止における、「②適正な予算」については、すべての企業規模において「やや重要である」が最も多くなり、小規模企業は40.3%(27件)、中規模企業は53.2%(42件)、大規模企業は45.5%(10件)となっている。

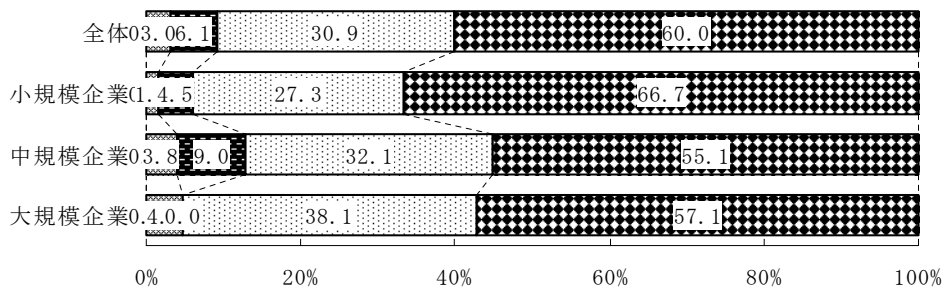
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	とても重要である	
全体	168	1	5	31	79	52	0
	100.0	0.6	3.0	18.5	47.0	31.0	
小規模企業	67	0	4	15	27	21	0
	100.0	0.0	6.0	22.4	40.3	31.3	
中規模企業	79	1	1	12	42	23	0
	100.0	1.3	1.3	15.2	53.2	29.1	
大規模企業	22	0	0	4	10	8	0
	100.0	0.0	0.0	18.2	45.5	36.4	



■ 全く重要ではない ■ あまり重要ではない ■ どちらともいえない □ やや重要である ■ とても重要である

建設現場の労働災害防止における、「③工事の施工方法」については、すべての企業規模において「とても重要である」が最も多くなり、小規模企業は66.7%(44件)、中規模企業は55.1%(43件)、大規模企業は57.1%(12件)となっている。

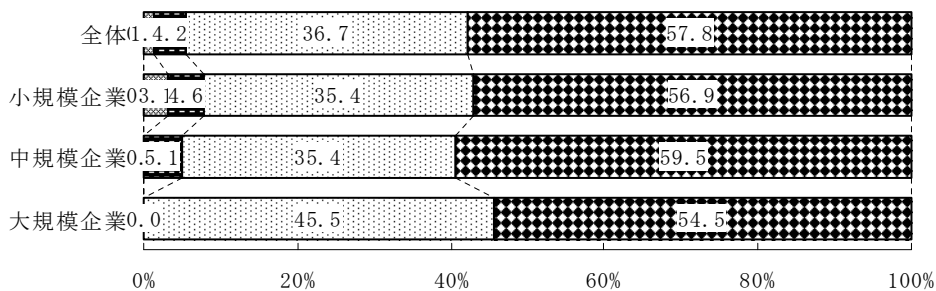
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	とても重要である	
全体	165	0	5	10	51	99	3
	100.0	0.0	3.0	6.1	30.9	60.0	
小規模企業	66	0	1	3	18	44	1
	100.0	0.0	1.5	4.5	27.3	66.7	
中規模企業	78	0	3	7	25	43	1
	100.0	0.0	3.8	9.0	32.1	55.1	
大規模企業	21	0	1	0	8	12	1
	100.0	0.0	4.8	0.0	38.1	57.1	



■ 全く重要ではない ■ あまり重要ではない ■ どちらともいえない □ やや重要である ■ とても重要である

建設現場の労働災害防止における、「④元請会社の施工管理能力」については、すべての企業規模において「とても重要である」が最も多くなり、小規模企業は56.9%(37件)、中規模企業は59.5%(47件)、大規模企業は54.5%(12件)となっている。

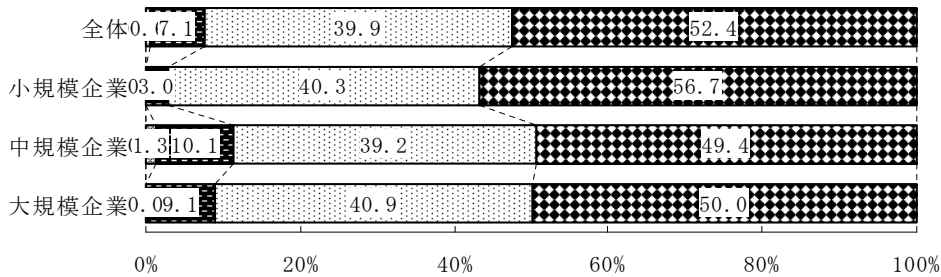
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	とても重要である	
全体	166	0	2	7	61	96	2
	100.0	0.0	1.2	4.2	36.7	57.8	
小規模企業	65	0	2	3	23	37	2
	100.0	0.0	3.1	4.6	35.4	56.9	
中規模企業	79	0	0	4	28	47	0
	100.0	0.0	0.0	5.1	35.4	59.5	
大規模企業	22	0	0	0	10	12	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	45.5	54.5	



■ 全く重要ではない ■ あまり重要ではない ■ どちらともいえない □ やや重要である ■ とても重要である

建設現場の労働災害防止における、「⑤協力会社の施工力」については、すべての企業規模において「とても重要である」が最も多くなり、小規模企業は56.7%(38件)、中規模企業は49.4%(39件)、大規模企業は50.0%(11件)となっている。

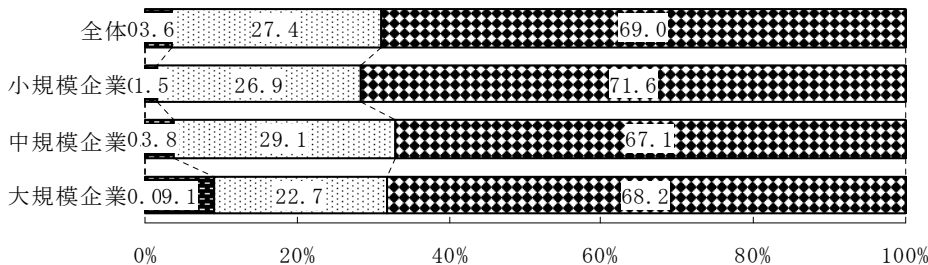
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	とても重要である	
全体	168	0	1	12	67	88	0
	100.0	0.0	0.6	7.1	39.9	52.4	
小規模企業	67	0	0	2	27	38	0
	100.0	0.0	0.0	3.0	40.3	56.7	
中規模企業	79	0	1	8	31	39	0
	100.0	0.0	1.3	10.1	39.2	49.4	
大規模企業	22	0	0	2	9	11	0
	100.0	0.0	0.0	9.1	40.9	50.0	



■ 全く重要ではない ■ あまり重要ではない ■ どちらともいえない □ やや重要である ■ とても重要である

建設現場の労働災害防止における、「⑥職長の指導力」については、すべての企業規模において「とても重要である」が最も多くなり、小規模企業は71.6%(48件)、中規模企業は67.1%(53件)、大規模企業は68.2%(15件)となっている。

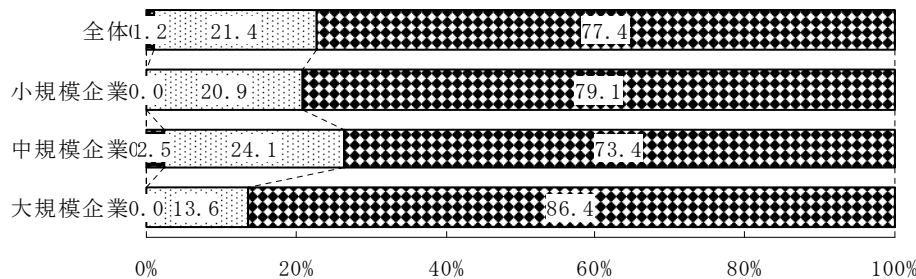
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	とても重要である	
全体	168	0	0	6	46	116	0
	100.0	0.0	0.0	3.6	27.4	69.0	
小規模企業	67	0	0	1	18	48	0
	100.0	0.0	0.0	1.5	26.9	71.6	
中規模企業	79	0	0	3	23	53	0
	100.0	0.0	0.0	3.8	29.1	67.1	
大規模企業	22	0	0	2	5	15	0
	100.0	0.0	0.0	9.1	22.7	68.2	



■ 全く重要ではない ■ あまり重要ではない ■ どちらともいえない □ やや重要である ■ とても重要である

建設現場の労働災害防止における、「⑦作業員の安全行動」については、すべての企業規模において「とても重要である」が最も多くなり、小規模企業は79.1%(53件)、中規模企業は73.4%(58件)、大規模企業は86.4%(19件)となっている。

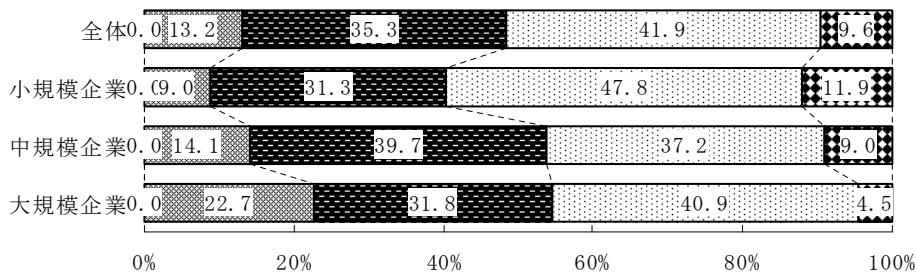
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	とても重要である	
全体	168	0	0	2	36	130	0
	100.0	0.0	0.0	1.2	21.4	77.4	
小規模企業	67	0	0	0	14	53	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	20.9	79.1	
中規模企業	79	0	0	2	19	58	0
	100.0	0.0	0.0	2.5	24.1	73.4	
大規模企業	22	0	0	0	3	19	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	13.6	86.4	



■ 全く重要ではない ■ あまり重要ではない ■ どちらともいえない □ やや重要である ■ とても重要である

建設現場の労働災害防止における、「⑧敷地面積の広さ」については、小規模企業、大規模企業ともに「やや重要である」が最も多くなり、小規模企業は47.8%(32件)、大規模企業は40.9%(9件)となっている。一方、中規模企業は、「どちらともいえない」が最も多く、39.7%(31件)となっている。

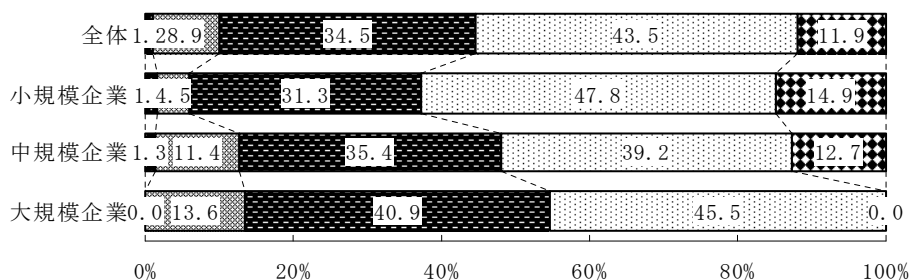
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	とても重要である	
全体	167	0	22	59	70	16	1
	100.0	0.0	13.2	35.3	41.9	9.6	
小規模企業	67	0	6	21	32	8	0
	100.0	0.0	9.0	31.3	47.8	11.9	
中規模企業	78	0	11	31	29	7	1
	100.0	0.0	14.1	39.7	37.2	9.0	
大規模企業	22	0	5	7	9	1	0
	100.0	0.0	22.7	31.8	40.9	4.5	



■ 全く重要ではない ■ あまり重要ではない ■ どちらともいえない □ やや重要である ■ とても重要である

建設現場の労働災害防止における、「⑨建物の形状」については、すべての企業規模において「やや重要である」が最も多くなり、小規模企業は47.8%(32件)、中規模企業は39.2%(31件)、大規模企業は45.5%(10件)となっている。

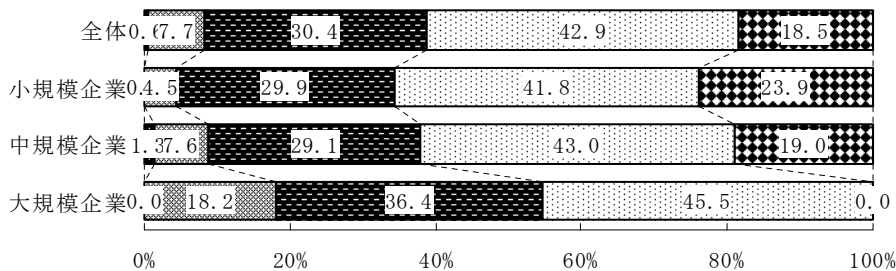
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	とても重要である	
全体	168	2	15	58	73	20	0
	100.0	1.2	8.9	34.5	43.5	11.9	
小規模企業	67	1	3	21	32	10	0
	100.0	1.5	4.5	31.3	47.8	14.9	
中規模企業	79	1	9	28	31	10	0
	100.0	1.3	11.4	35.4	39.2	12.7	
大規模企業	22	0	3	9	10	0	0
	100.0	0.0	13.6	40.9	45.5	0.0	



■ 全く重要ではない ■ あまり重要ではない ■ どちらともいえない □ やや重要である ■ とても重要である

建設現場の労働災害防止における、「⑩現場周辺環境」については、すべての企業規模において「やや重要である」が最も多くなり、小規模企業は41.8%(28件)、中規模企業は43.0%(34件)、大規模企業は45.5%(10件)となっている。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	とても重要である	
全体	168	1	13	51	72	31	0
	100.0	0.6	7.7	30.4	42.9	18.5	
小規模企業	67	0	3	20	28	16	0
	100.0	0.0	4.5	29.9	41.8	23.9	
中規模企業	79	1	6	23	34	15	0
	100.0	1.3	7.6	29.1	43.0	19.0	
大規模企業	22	0	4	8	10	0	0
	100.0	0.0	18.2	36.4	45.5	0.0	

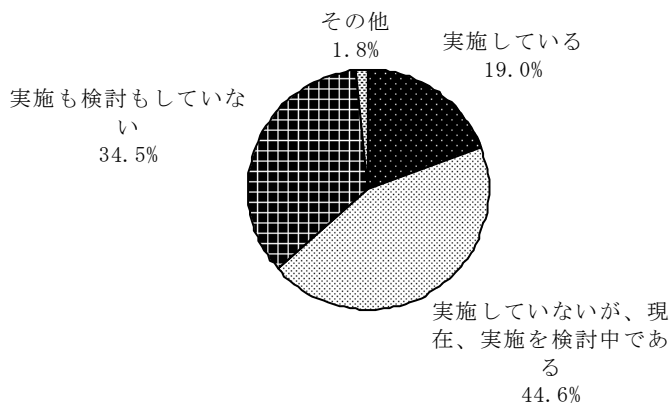


■ 全く重要ではない ■ あまり重要ではない ■ どちらともいえない □ やや重要である ■ とても重要である

問7. 貴社ではリスクアセスメントを実施していますか。[○はひとつ]

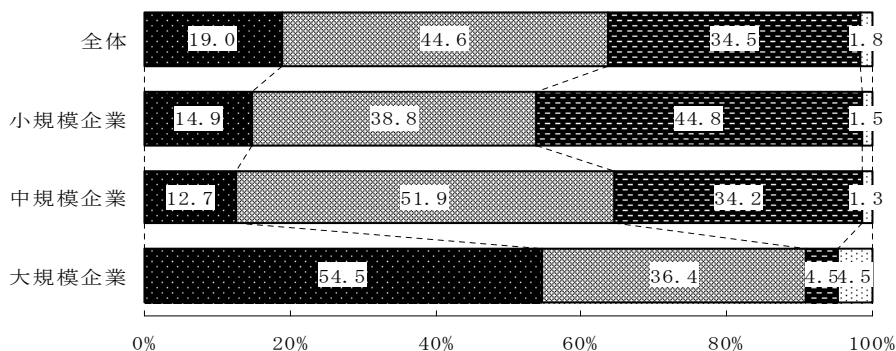
リスクアセスメントの実施状況について、「実施していないが、現在、実施を検討中である」が最も多く44.6%(75件)となっている。次いで、「実施も検討もしていない」が34.5%(58件)、「実施している」が19.0%(32件)となっている。

	結果	件数	構成比率(%)
1	実施している	32	19.0
2	実施していないが、現在、実施を検討中である	75	44.6
3	実施も検討もしていない	58	34.5
4	その他	3	1.8
	不明	0	
	全体	168	100.0



リスクアセスメントの実施状況について、小規模企業は「実施も検討もしていない」が44.8%(30件)、中規模企業は「実施していないが、現在、実施を検討中である」が51.9%(41件)、大規模企業は「実施している」が54.5%(12件)と最も多くなっており、企業規模が大きくなるにつれて、リスクアセスメントを実施している傾向がある。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】				
		実施している	実施していないが、現在、実施を検討中である	実施も検討もしていない	その他	不明
全体	168 100.0	32 19.0	75 44.6	58 34.5	3 1.8	0
小規模企業	67 100.0	10 14.9	26 38.8	30 44.8	1 1.5	0
中規模企業	79 100.0	10 12.7	41 51.9	27 34.2	1 1.3	0
大規模企業	22 100.0	12 54.5	8 36.4	1 4.5	1 4.5	0



■ 実施している ■ 実施していないが、現在、実施を検討中である ■ 実施も検討もしていない □ その他

問8.【問7で「1. 実施している」と回答された方にお伺いします。】

リスクアセスメント実施上の課題は何ですか。具体的にご記入下さい。

リスクアセスメントを実施する上での課題について32社から32件の記述回答が得られた。これらの課題を5項目に分類した。小規模企業は「リスク評価者の育成」が最も多く、50.0%(5件)となっている。中規模企業は、「リスク評価者の育成」、「作業員の意識向上」が最も多く、30.0%(3件)となっている。大規模企業は、「作業員の意識向上」、「繰り返し実施による定着」が最も多く、25.0%(3件)となっている。

		【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
	合計	リスク評価者の育成	作業員の意識向上	繰り返し実施による定着	工期スケジュールの調整	その他	不明
全体	32 100.0	10 31.3	7 21.9	4 12.5	3 9.4	8 25.0	0
小規模企業	10 100.0	5 50.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	3 30.0	0
中規模企業	10 100.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	0
大規模企業	12 100.0	2 16.7	3 25.0	3 25.0	0 0.0	4 33.3	0

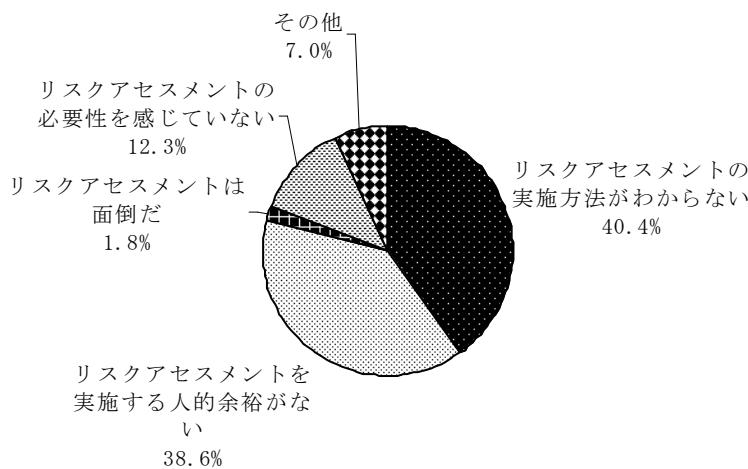
【記述回答例】(括弧内は回答企業規模)

- リスク評価者の育成(10件)
 - ・危険性、有害性のある材料か否かの判断ができるか。(小規模)
 - ・協力会社の実際に作業する人への教育と実効ある実施方法(中規模)
 - ・改善計画の遅れ、深掘りの程度(大規模)
- 作業員の意識向上(7件)
 - ・作業員が対策したとおりに実施するか(小規模)
 - ・作業員の意識向上(面倒くさいという意識の改革)(中規模)
 - ・各業種の末端にまで活動の意味を理解させ自覚させる事(大規模)
- 繰り返し実施による定着(4件)
 - ・日常の継続実施(中規模)
 - ・くり返し実施して定着までやり続けること(大規模)
- 工期スケジュールの調整(3件)
 - ・工事内容の調査後に工事に着手(小規模)
 - ・労働安全衛生法と現場の作業工程の内容調整(中規模)

問9.【問7で「3. 実施も検討もしていない」と回答された方にお伺いします。】
その理由は何ですか。【○はひとつ】

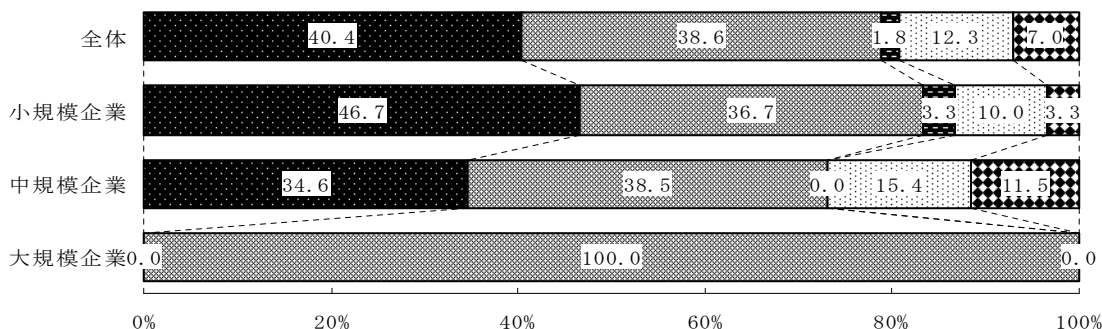
リスクアセスメントを「実施も検討もしていない」理由は、「リスクアセスメントの実施方法がわからない」40.4%(23件)、「リスクアセスメントを実施する人的余裕がない」38.6%(22件)がほぼ同等に高い割合となっている。

結果	件数	構成比率(%)
1 リスクアセスメントの実施方法がわからない	23	40.4
2 リスクアセスメントを実施する人的余裕がない	22	38.6
3 リスクアセスメントは面倒だ	1	1.8
4 リスクアセスメントの必要性を感じていない	7	12.3
5 その他	4	7.0
不明	1	
全体	57	100.0



リスクアセスメントを「実施も検討もしていない」理由について、小規模企業は「リスクアセスメントの実施方法がわからない」が46.7%(14件)と最も多くなり、中規模企業は「リスクアセスメントを実施する人的余裕がない」が38.5%(10件)と最も多くなっている。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		リスクアセスメントの実施方法がわからない	リスクアセスメントを実施する人的余裕がない	リスクアセスメントは面倒だ	リスクアセスメントの必要性を感じていない	その他	
全体	57 100.0	23 40.4	22 38.6	1 1.8	7 12.3	4 7.0	1
小規模企業	30 100.0	14 46.7	11 36.7	1 3.3	3 10.0	1 3.3	0
中規模企業	26 100.0	9 34.6	10 38.5	0 0.0	4 15.4	3 11.5	1
大規模企業	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0

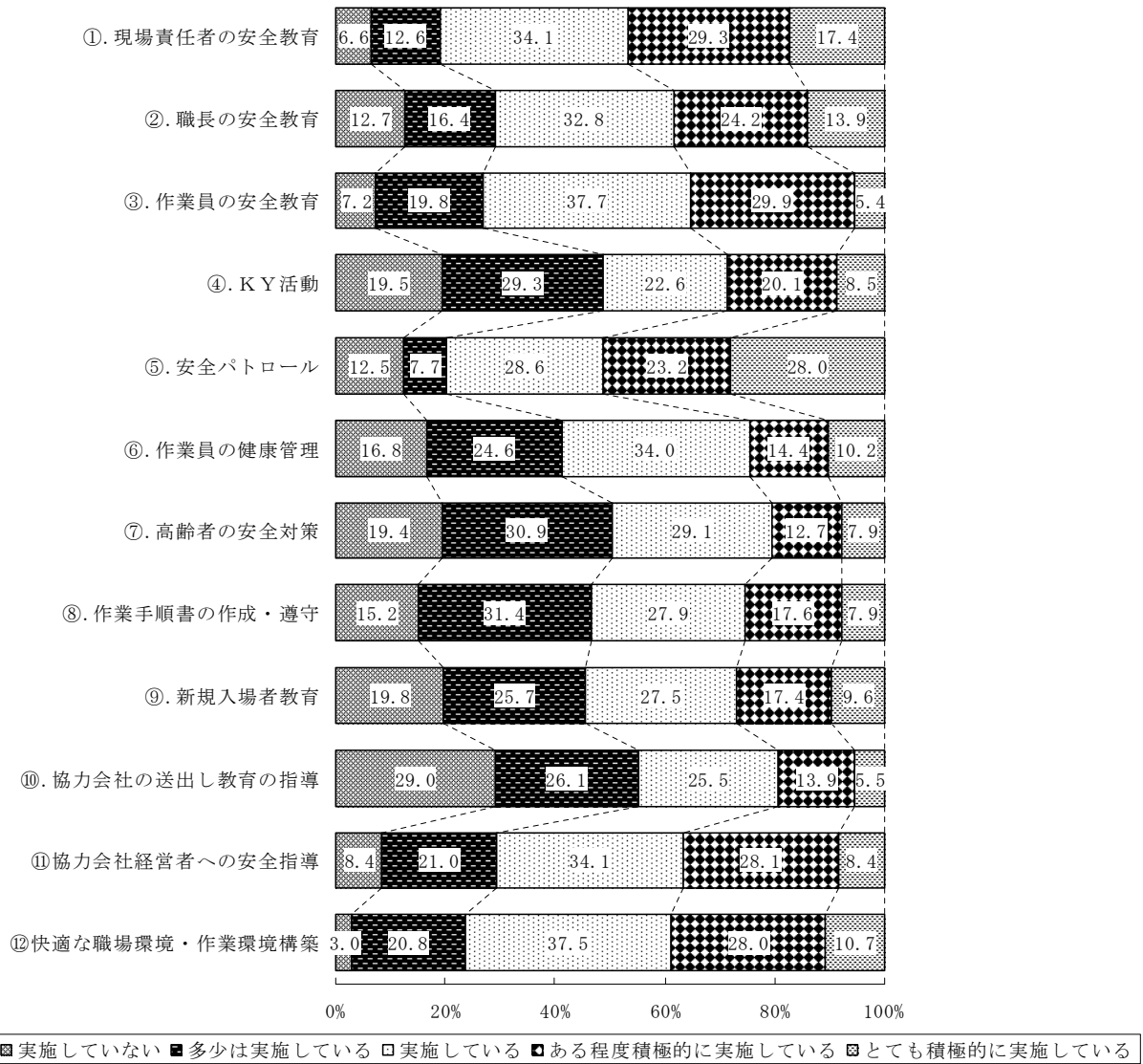


リスクアセスメントの実施方法がわからない
 リスクアセスメントを実施する人的余裕がない
 リスクアセスメントは面倒だ
 リスクアセスメントの必要性を感じていない
 その他

問10. 以下①～⑫の安全教育、安全活動をどの程度実施していますか。5段階評価でお答え下さい。
 [〇はひとつ]

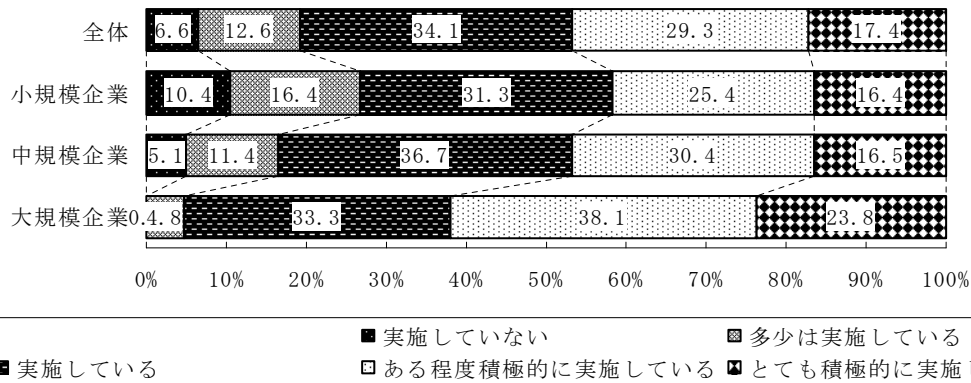
安全教育、安全活動の実施において、「とても積極的に実施している」、「ある程度積極的に実施している」を加えた割合が高いのは、「⑤安全パトロール」51.2%(86件)、次いで「①現場責任者の安全教育」46.7%(78件)となっている。

	全体	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		実施していない	多少は実施している	実施している	ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	
①. 現場責任者の安全教育	167	11	21	57	49	29	1
	100.0	6.6	12.6	34.1	29.3	17.4	
②. 職長の安全教育	165	21	27	54	40	23	3
	100.0	12.7	16.4	32.7	24.2	13.9	
③. 作業員の安全教育	167	12	33	63	50	9	1
	100.0	7.2	19.8	37.7	29.9	5.4	
④. KY活動	164	32	48	37	33	14	4
	100.0	19.5	29.3	22.6	20.1	8.5	
⑤. 安全パトロール	168	21	13	48	39	47	0
	100.0	12.5	7.7	28.6	23.2	28.0	
⑥. 作業員の健康管理	167	28	41	57	24	17	1
	100.0	16.8	24.6	34.1	14.4	10.2	
⑦. 高齢者の安全対策	165	32	51	48	21	13	3
	100.0	19.4	30.9	29.1	12.7	7.9	
⑧. 作業手順書の作成・遵守	165	25	52	46	29	13	3
	100.0	15.2	31.5	27.9	17.6	7.9	
⑨. 新規入場者教育	167	33	43	46	29	16	1
	100.0	19.8	25.7	27.5	17.4	9.6	
⑩. 協力会社の送出し教育の指導	165	48	43	42	23	9	3
	100.0	29.1	26.1	25.5	13.9	5.5	
⑪ 協力会社経営者への安全指導	167	14	35	57	47	14	1
	100.0	8.4	21.0	34.1	28.1	8.4	
⑫ 快適な職場環境・作業環境構築	168	5	35	63	47	18	0
	100.0	3.0	20.8	37.5	28.0	10.7	



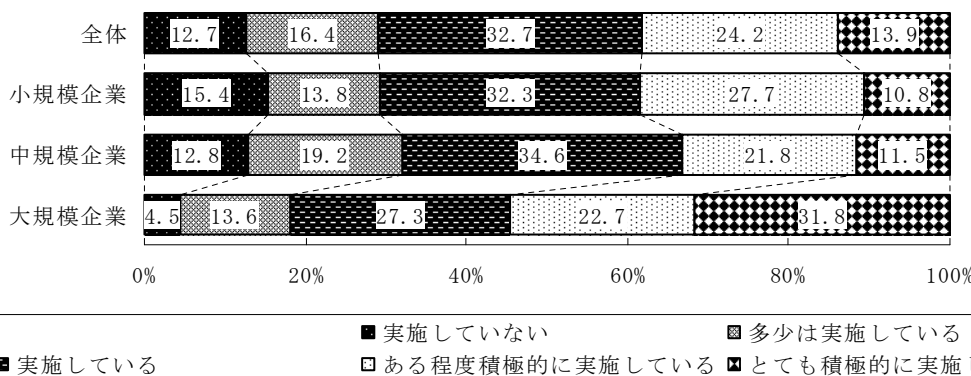
安全教育、安全活動の実施における、「①現場責任者の安全教育」については、小規模企業、中規模企業ともに「実施している」が最も多くなり、小規模企業は31.3%(21件)、中規模企業は36.7%(29件)となっている。一方、大規模企業は、「ある程度積極的に実施している」が最も多く、38.1%(8件)となっている。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
		実施していない	多少は実施している	実施している	ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	167	11	21	57	49	29	1
	100.0	6.6	12.6	34.1	29.3	17.4	
小規模企業	67	7	11	21	17	11	0
	100.0	10.4	16.4	31.3	25.4	16.4	
中規模企業	79	4	9	29	24	13	0
	100.0	5.1	11.4	36.7	30.4	16.5	
大規模企業	21	0	1	7	8	5	1
	100.0	0.0	4.8	33.3	38.1	23.8	



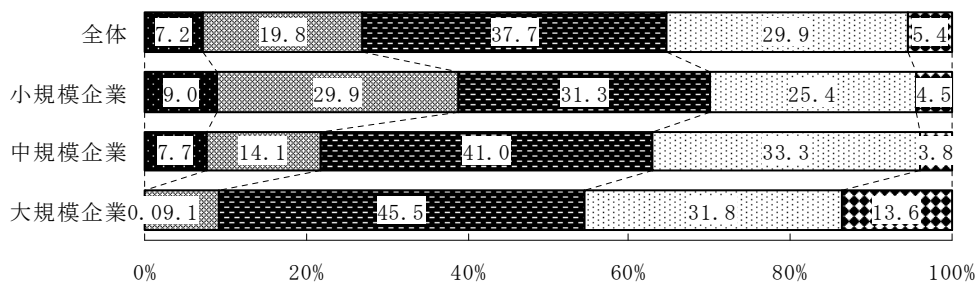
安全教育、安全活動の実施における、「②職長の安全教育」については、小規模企業、中規模企業ともに「実施している」が最も多くなり、小規模企業は32.3%(21件)、中規模企業は34.6%(27件)となっている。一方、大規模企業は「とても積極的に実施している」が31.8%(7件)となっている。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
		実施していない	多少は実施している	実施している	ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	165	21	27	54	40	23	3
	100.0	12.7	16.4	32.7	24.2	13.9	
小規模企業	65	10	9	21	18	7	2
	100.0	15.4	13.8	32.3	27.7	10.8	
中規模企業	78	10	15	27	17	9	1
	100.0	12.8	19.2	34.6	21.8	11.5	
大規模企業	22	1	3	6	5	7	0
	100.0	4.5	13.6	27.3	22.7	31.8	



安全教育、安全活動の実施における、「③作業員の安全教育」については、すべての企業規模において「実施している」が最も多くなり、小規模企業は31.3%(21件)、中規模企業は41.0%(32件)、大規模企業は45.5%(10件)となっている。

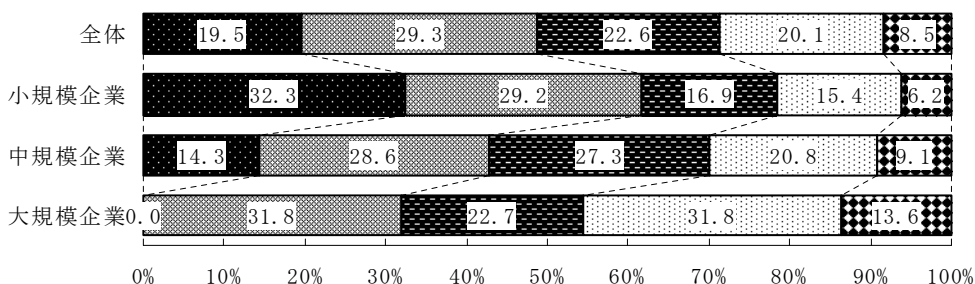
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
		実施していない	多少は実施している	実施している	ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	167	12	33	63	50	9	1
	100.0	7.2	19.8	37.7	29.9	5.4	
小規模企業	67	6	20	21	17	3	0
	100.0	9.0	29.9	31.3	25.4	4.5	
中規模企業	78	6	11	32	26	3	1
	100.0	7.7	14.1	41.0	33.3	3.8	
大規模企業	22	0	2	10	7	3	0
	100.0	0.0	9.1	45.5	31.8	13.6	



■ 実施していない ■ 多少は実施している
 ■ 実施している ■ ある程度積極的に実施している ■ とても積極的に実施している

安全教育、安全活動の実施における、「④KY活動」については、小規模企業は「実施していない」が最も多く、32.3%(21件)となっている。一方、中規模企業、大規模企業は「多少は実施している」が最も多くなり、中規模企業は28.6%(22件)、大規模企業は31.8%(7件)となっている。大規模企業は「ある程度積極的に実施している」も同等となっている。

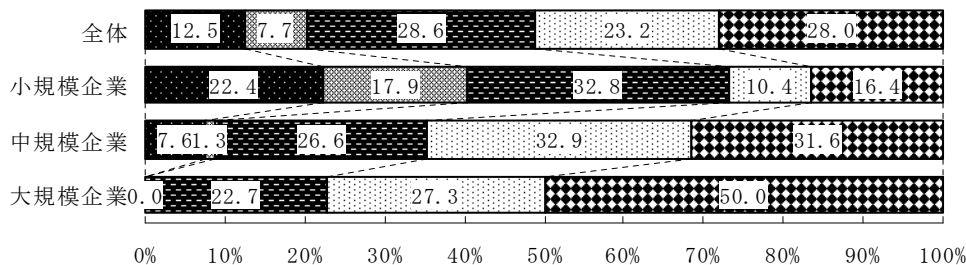
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
		実施していない	多少は実施している	実施している	ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	164	32	48	37	33	14	4
	100.0	19.5	29.3	22.6	20.1	8.5	
小規模企業	65	21	19	11	10	4	2
	100.0	32.3	29.2	16.9	15.4	6.2	
中規模企業	77	11	22	21	16	7	2
	100.0	14.3	28.6	27.3	20.8	9.1	
大規模企業	22	0	7	5	7	3	0
	100.0	0.0	31.8	22.7	31.8	13.6	



■ 実施していない ■ 多少は実施している
 ■ 実施している ■ ある程度積極的に実施している ■ とても積極的に実施している

安全教育、安全活動の実施における、「⑤安全パトロール」については、小規模企業は「実施している」が32.8%(22件)、中規模企業は「ある程度積極的に実施している」が32.9%(26件)、大規模企業は「とても積極的に実施している」が50.0%(11件)と最も多くなっており、企業規模が大きくなるにつれ、安全パトロールを実施している傾向がある。

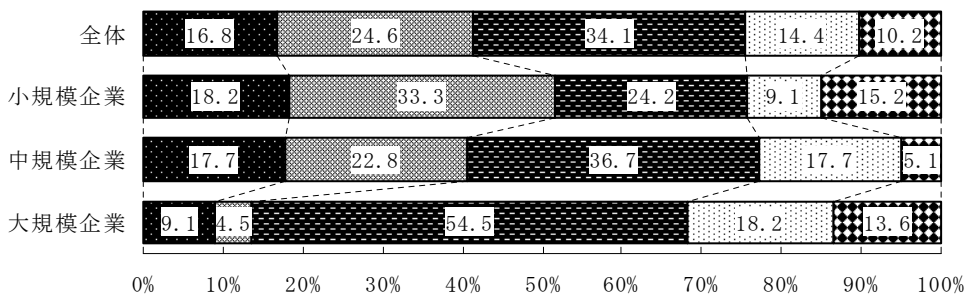
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
		実施していない	多少は実施している	実施している	ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	168	21	13	48	39	47	0
	100.0	12.5	7.7	28.6	23.2	28.0	
小規模企業	67	15	12	22	7	11	0
	100.0	22.4	17.9	32.8	10.4	16.4	
中規模企業	79	6	1	21	26	25	0
	100.0	7.6	1.3	26.6	32.9	31.6	
大規模企業	22	0	0	5	6	11	0
	100.0	0.0	0.0	22.7	27.3	50.0	



■ 実施していない ■ 多少は実施している
 ■ 実施している ■ ある程度積極的に実施している ■ とても積極的に実施している

安全教育、安全活動の実施における、「⑥作業員の健康管理」については、小規模企業は「多少は実施している」が最も多くなり、33.3%(22件)となっている。一方、中規模企業、大規模企業は「実施している」が最も多く、中規模企業は36.7%(29件)、大規模企業は54.5%(12件)となっている。

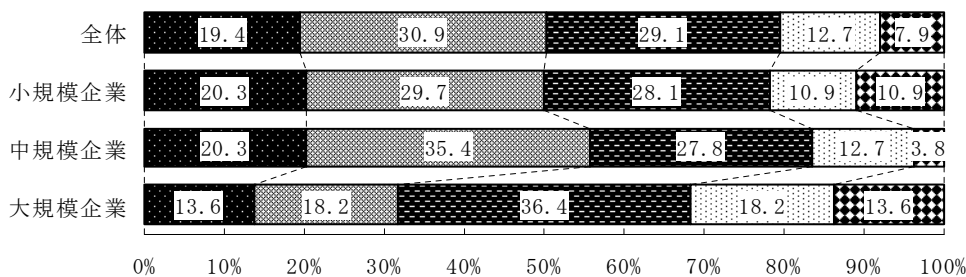
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
		実施していない	多少は実施している	実施している	ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	167	28	41	57	24	17	1
	100.0	16.8	24.6	34.1	14.4	10.2	
小規模企業	66	12	22	16	6	10	1
	100.0	18.2	33.3	24.2	9.1	15.2	
中規模企業	79	14	18	29	14	4	0
	100.0	17.7	22.8	36.7	17.7	5.1	
大規模企業	22	2	1	12	4	3	0
	100.0	9.1	4.5	54.5	18.2	13.6	



■ 実施していない ■ 多少は実施している
 ■ 実施している ■ ある程度積極的に実施している ■ とても積極的に実施している

安全教育、安全活動の実施における、「⑦高齢者の安全対策」については、小規模企業、中規模企業ともに「多少は実施している」が最も多くなり、小規模企業は29.7%(19件)、中規模企業は35.4%(28件)となっている。一方、大規模企業は「実施している」が最も多くなり、36.4%(8件)となっている。

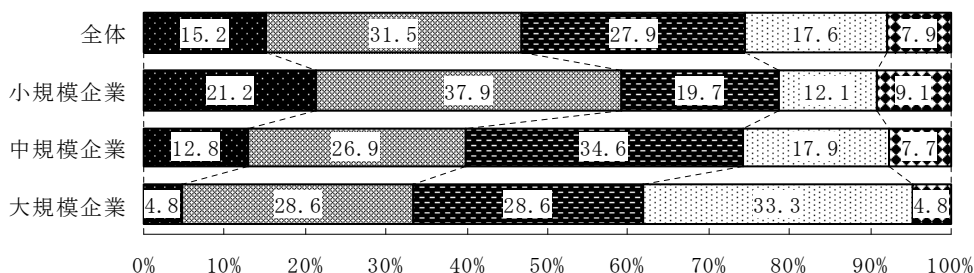
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
		実施していない	多少は実施している	実施している	ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	165 100.0	32 19.4	51 30.9	48 29.1	21 12.7	13 7.9	3
小規模企業	64 100.0	13 20.3	19 29.7	18 28.1	7 10.9	7 10.9	3
中規模企業	79 100.0	16 20.3	28 35.4	22 27.8	10 12.7	3 3.8	0
大規模企業	22 100.0	3 13.6	4 18.2	8 36.4	4 18.2	3 13.6	0



■ 実施していない ▨ 多少は実施している
 ■ 実施している ▩ ある程度積極的に実施している ▤ とても積極的に実施している

安全教育、安全活動の実施における、「⑧作業手順書の作成・遵守」については、小規模企業は「多少は実施している」が37.9%(25件)、中規模企業は「実施している」が34.6%(27件)、大規模企業は「ある程度積極的に実施している」が33.3%(7件)と最も多くなっており、企業規模が大きくなるにつれ、作業手順書の作成・遵守を実施している傾向がある。

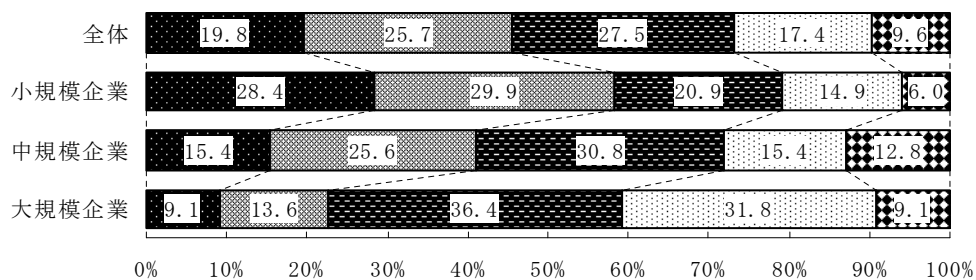
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
		実施していない	多少は実施している	実施している	ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	165 100.0	25 15.2	52 31.5	46 27.9	29 17.6	13 7.9	3
小規模企業	66 100.0	14 21.2	25 37.9	13 19.7	8 12.1	6 9.1	1
中規模企業	78 100.0	10 12.8	21 26.9	27 34.6	14 17.9	6 7.7	1
大規模企業	21 100.0	1 4.8	6 28.6	6 28.6	7 33.3	1 4.8	1



■ 実施していない ▨ 多少は実施している
 ■ 実施している ▩ ある程度積極的に実施している ▤ とても積極的に実施している

安全教育、活動の実施における、「⑨新規入場者教育」については、小規模企業は「多少は実施している」が最も多く、29.9%(20件)となっている。一方、中規模企業、大規模企業は「実施している」が最も多くなり、中規模企業は30.8%(24件)、大規模企業は36.4%(8件)となっている。

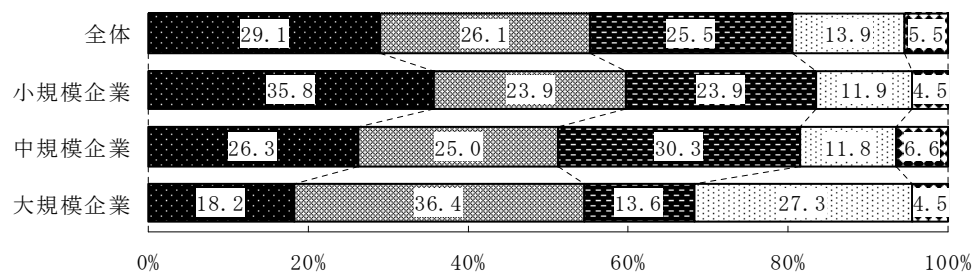
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
		実施していない	多少は実施している	実施している	ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	167	33	43	46	29	16	1
	100.0	19.8	25.7	27.5	17.4	9.6	
小規模企業	67	19	20	14	10	4	0
	100.0	28.4	29.9	20.9	14.9	6.0	
中規模企業	78	12	20	24	12	10	1
	100.0	15.4	25.6	30.8	15.4	12.8	
大規模企業	22	2	3	8	7	2	0
	100.0	9.1	13.6	36.4	31.8	9.1	



■ 実施していない □ 多少は実施している
 ■ 実施している □ ある程度積極的に実施している ■ とても積極的に実施している

安全教育、活動の実施における、「⑩協力会社の送出し教育の指導」については、小規模企業は「実施していない」が35.8%(24件)、中規模企業は「実施している」が30.3%(23件)、大規模企業は「多少は実施している」が36.4%(8件)と最も多くなっている。

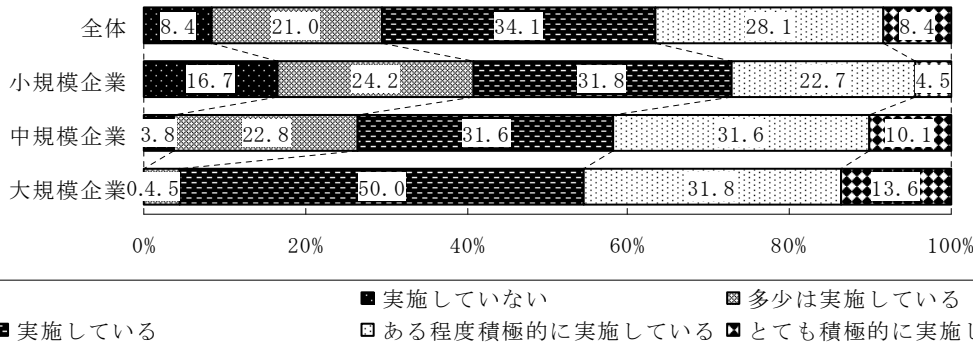
	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					
		実施していない	多少は実施している	実施している	ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	165	48	43	42	23	9	3
	100.0	29.1	26.1	25.5	13.9	5.5	
小規模企業	67	24	16	16	8	3	0
	100.0	35.8	23.9	23.9	11.9	4.5	
中規模企業	76	20	19	23	9	5	3
	100.0	26.3	25.0	30.3	11.8	6.6	
大規模企業	22	4	8	3	6	1	0
	100.0	18.2	36.4	13.6	27.3	4.5	



■ 実施していない □ 多少は実施している
 ■ 実施している □ ある程度積極的に実施している ■ とても積極的に実施している

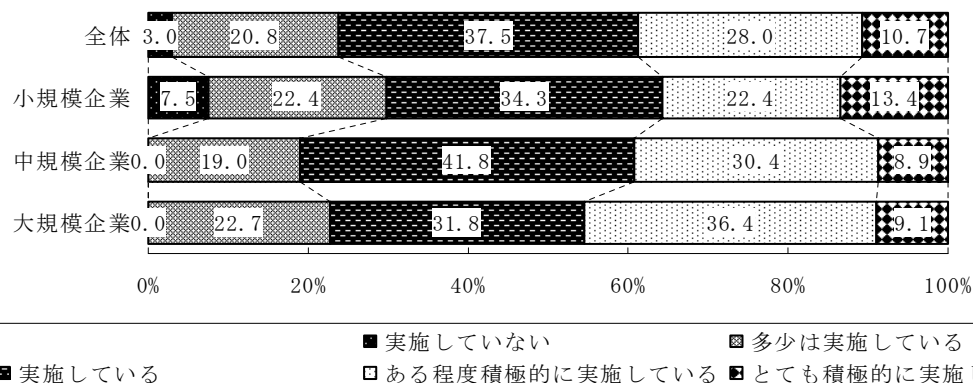
安全教育、活動の実施における、「⑩協力会社経営者への安全指導」については、すべての企業規模において「実施している」が最も多くなり、小規模企業が31.8%(21件)、中規模企業が31.6%(25件)、大規模企業が50.0%(11件)となっている。中規模企業は、「ある程度積極的に実施している」も同等となっている。

	合計	実施していない	多少は実施している	実施している	【上段：回答数 下段：構成比(%)】		
					ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	167	14	35	57	47	14	1
	100.0	8.4	21.0	34.1	28.1	8.4	
小規模企業	66	11	16	21	15	3	1
	100.0	16.7	24.2	31.8	22.7	4.5	
中規模企業	79	3	18	25	25	8	0
	100.0	3.8	22.8	31.6	31.6	10.1	
大規模企業	22	0	1	11	7	3	0
	100.0	0.0	4.5	50.0	31.8	13.6	



安全教育、活動の実施における、「⑪快適な職場環境・作業環境構築」については、小規模企業、中規模企業ともに「実施している」が最も多くなり、小規模企業は34.3%(23件)、中規模企業は41.8%(33件)となっている。一方、大規模企業は「ある程度積極的に実施している」が最も多くなり、36.4%(8件)となっている。

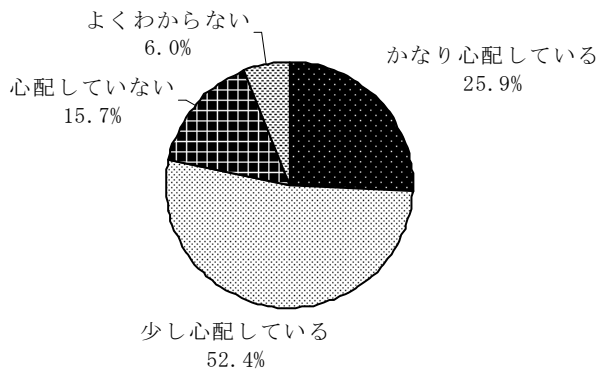
	合計	実施していない	多少は実施している	実施している	【上段：回答数 下段：構成比(%)】		
					ある程度積極的に実施している	とても積極的に実施している	不明
全体	168	5	35	63	47	18	0
	100.0	3.0	20.8	37.5	28.0	10.7	
小規模企業	67	5	15	23	15	9	0
	100.0	7.5	22.4	34.3	22.4	13.4	
中規模企業	79	0	15	33	24	7	0
	100.0	0.0	19.0	41.8	30.4	8.9	
大規模企業	22	0	5	7	8	2	0
	100.0	0.0	22.7	31.8	36.4	9.1	



問11. 高齢者の労働災害を心配していますか。[○はひとつ]

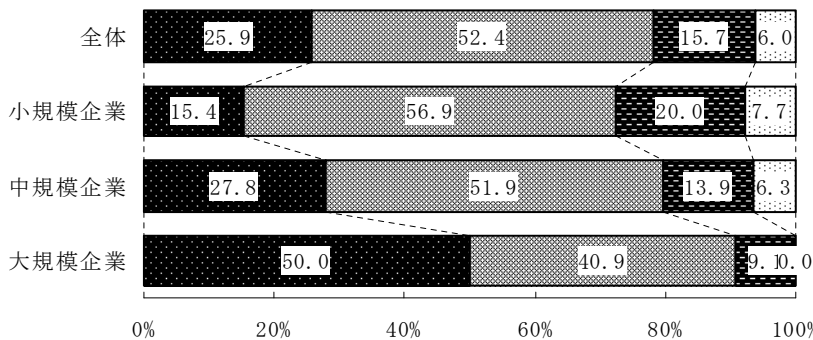
高齢者の労働災害について、「少し心配している」が最も多く、52.4%(87件)となっている。次いで「かなり心配している」が25.9%(43件)、「心配していない」が15.7%(26件)となっている。

結果		件数	構成比率(%)
1	かなり心配している	43	25.9
2	少し心配している	87	52.4
3	心配していない	26	15.7
4	よくわからない	10	6.0
	不明	2	
	全体	166	100.0



高齢者の労働災害について、小規模企業、中規模企業は「少し心配している」が最も多くなり、小規模企業は56.9%(37件)、中規模企業は51.9%(41件)となっている。一方、大規模企業は「かなり心配している」が最も多くなり、50.0%(11件)となっている。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】				
		かなり心配している	少し心配している	心配していない	よくわからない	不明
全体	166	43	87	26	10	2
	100.0	25.9	52.4	15.7	6.0	
小規模企業	65	10	37	13	5	2
	100.0	15.4	56.9	20.0	7.7	
中規模企業	79	22	41	11	5	0
	100.0	27.8	51.9	13.9	6.3	
大規模企業	22	11	9	2	0	0
	100.0	50.0	40.9	9.1	0.0	



■かなり心配している ■少し心配している ■心配していない □よくわからない

問11. 高齢者の労働災害を心配していますか。[○はひとつ]
 【心配される災害を具体的にご記入下さい】

高齢者の労働災害について117社から163件の記述回答が得られた。これらの労働災害を8項目に分類した。すべての企業規模において「墜落・転落災害」が最も多く、小規模企業は73.8%(31件)、中規模企業は50.9%(28件)、大規模企業は75.0%(15件)となっている。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】								
		墜落・転落災害	に身体よる能力の低下	転倒災害	が(高齢者特有の発痛他)	扱電機工具、機械取り	よへの作業環境・劣化変化	よ熟練からくる慣れに	その他	不明
全体	117	74	27	24	13	6	5	5	9	13
	100.0	63.2	23.1	20.5	11.1	5.1	4.3	4.3	7.7	
小規模企業	42	31	10	5	4	2	1	0	3	0
	100.0	73.8	23.8	11.9	9.5	4.8	2.4	0.0	7.1	
中規模企業	55	28	11	14	8	4	3	5	5	0
	100.0	50.9	20.0	25.5	14.5	7.3	5.5	9.1	9.1	
大規模企業	20	15	6	5	1	0	1	0	1	0
	100.0	75.0	30.0	25.0	5.0	0.0	5.0	0.0	5.0	

【記述回答例】(括弧内は回答企業規模)

○墜落・転落災害(74件)

- ・高所からの転落 急な体調変化による災害(小規模)
- ・身体の機能低下にともなう墜落・転倒(中規模)
- ・視力低下などの労齢化による墜転落災害(大規模)

○身体能力の低下による災害(27件)

- ・作業動作のにぶさによる、災害墜落つまづき等による行動災害(小規模)
- ・作業中の病気 動作の遅れ等(中規模)
- ・敏捷性やバランス感覚の低下に伴う墜落災害(大規模)

○転倒災害(24件)

- ・作業動作のにぶさによる、災害墜落つまづき等による行動災害(小規模)
- ・脚立等の比較的、低い所からのつまづき転倒(中規模)
- ・養生片付時、玄関前で転倒、大腿骨骨折、休業90日等、なんでもない所での事故が重大事故になってしまう為(大規模)

○高齢者特有の持病(高血圧・腰痛他)が作業中に発生(13件)

- ・高所からの転落 急な体調変化による災害(小規模)
- ・一人作業中での体調悪化(血圧)等(中規模)
- ・高齢者特有の持病(高血圧・腰痛他)の作業中の発生 ・機能の衰え(視力・動作等)による災害(大規模)

○電機工具、機械取り扱いミスによる災害(6件)

- ・一人作業時の急病・転落・電動工具等でのけが(小規模)
- ・落下(足場より)、電動工具の使用時の熟練からくる安心によるミス。目の悪さ。熟練からの安全意識の軽視。(中規模)

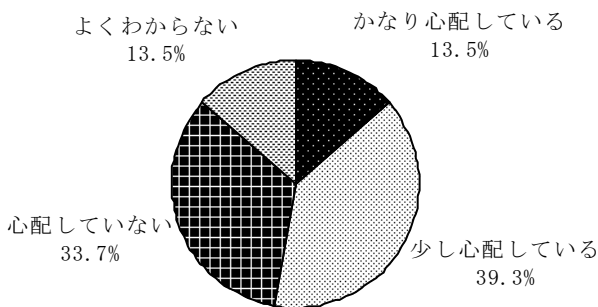
- 作業環境・内容変化への適応力劣化による災害(5件)
 - ・夏場など炎天下での作業 高層作業(小規模)
 - ・高所作業による墜落、落下、つまづき転倒 作業内容の変化への対応力(中規模)
 - ・熱中症、墜落、転倒(大規模)

- 熟練からくる慣れによる災害(5件)
 - ・年齢、慣れからくる、不安全行動(中規模)

問12. 最近リフォーム工事が増加していますが、新築とは異なるリフォーム工事特有の労働災害が増加する事を心配していますか。[○はひとつ]

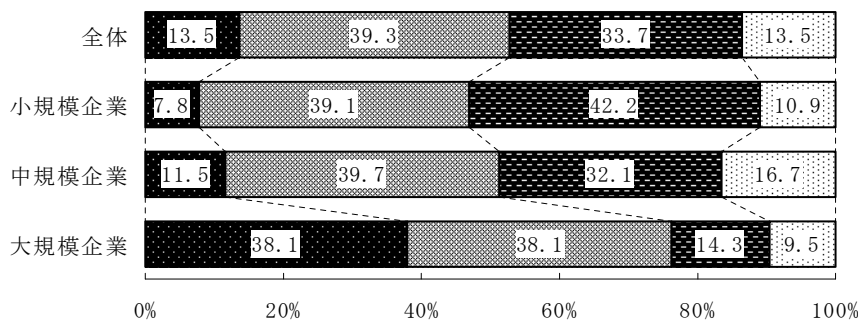
リフォーム工事における労働災害について、「少し心配している」が最も多くなり、39.3%(64件)となっている。次いで、「心配していない」が33.7%(55件)、「かなり心配している」、「よくわからない」がそれぞれ13.5%(22件)となっている。

結果		件数	構成比率(%)
1	かなり心配している	22	13.5
2	少し心配している	64	39.3
3	心配していない	55	33.7
4	よくわからない	22	13.5
	不明	5	
	全体	163	100.0



リフォーム工事における労働災害について、小規模企業は「心配していない」が最も多くなり、42.2%(27件)となっている。中規模企業、大規模企業は「少し心配している」が最も多くなり、中規模企業は39.7%(31件)、大規模企業は38.1%(8件)となっている。大規模企業は、「かなり心配している」も同等となり、企業規模が大きくなるにつれて、新築とは異なる労働災害を心配する傾向がある。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】				
		かなり心配している	少し心配している	心配していない	よくわからない	不明
全体	163	22	64	55	22	5
	100.0	13.5	39.3	33.7	13.5	
小規模企業	64	5	25	27	7	3
	100.0	7.8	39.1	42.2	10.9	
中規模企業	78	9	31	25	13	1
	100.0	11.5	39.7	32.1	16.7	
大規模企業	21	8	8	3	2	1
	100.0	38.1	38.1	14.3	9.5	



■ かなり心配している ■ 少し心配している ■ 心配していない □ よくわからない

問12. 最近リフォーム工事が増加していますが、新築とは異なるリフォーム工事特有の労働災害が
増加する事を心配していますか。[○はひとつ]
【心配される災害を具体的にご記入下さい】

リフォーム工事における労働災害について、79社から109件の記述回答が得られた。これらの労働災害を13項目に分類した。小規模企業は、「撤去・解体時の災害」が最も多くなり、37.0%(10件)、中規模企業は、「工期・予算・場所等の制約による災害」が最も多くなり、19.4%(7件)、大規模企業は、「屋上・屋根からの墜落・転落災害」、「設備の不備による災害」が最も多くなり、18.8%(3件)となっている。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】													
		墜落・転落災害				撤去・解体時の災害	の工期・予算・場所等	害設備の不備による災	第三者災害(住人)	災電動工具使用による	転倒災害	物質吸引災害、有害	災安全意識低下による	その他	不明
		墜上・屋根からの	転落からの	脚立からの	足場からの										
全体	79	11	8	4	13	12	11	9	7	7	6	6	2	13	7
	100.0	13.9	10.1	5.1	16.5	15.2	13.9	11.4	8.9	8.9	7.6	7.6	2.5	16.5	
小規模企業	27	3	2	1	4	10	2	1	2	4	2	0	0	4	3
	100.0	11.1	7.4	3.7	14.8	37.0	7.4	3.7	7.4	14.8	7.4	0.0	0.0	14.8	
中規模企業	36	5	5	1	5	2	7	5	3	1	2	4	1	8	4
	100.0	13.9	13.9	2.8	13.9	5.6	19.4	13.9	8.3	2.8	5.6	11.1	2.8	22.2	
大規模企業	16	3	1	2	4	0	2	3	2	2	2	2	1	1	0
	100.0	18.8	6.3	12.5	25.0	0.0	12.5	18.8	12.5	12.5	12.5	12.5	6.3	6.3	

【記述回答例】(括弧内は回答企業規模)

- 屋上・屋根からの墜落・転落災害(11件)
 - ・屋根等の解体作業中による転落・墜落(小規模)
 - ・屋根工事時・点検時の墜落(中規模)
 - ・点検や手直し工事での足場なしの屋根面からの転落災害(大規模)
- 脚立からの墜落・転落災害(8件)
 - ・解体時の脚立からの転落(小規模)
 - ・屋根上や梯子上、脚立上からの墜落、転落(中規模)
 - ・脚立等の簡易足場からの墜落及び転倒(大規模)
- 足場からの墜落・転落災害(4件)
 - ・墜落災害(外装工場の足場が簡易的である)(小規模)
 - ・足場作業時の墜落(踏みはずし) 開口部の手摺、蓋処置(中規模)
 - ・狭小敷地に設置する不安定な足場からの墜落・転落災害(大規模)
- その他墜落・転落災害(13件)
 - ・床根太等折れて転落事故(小規模)
 - ・高所作業時における墜落、既存部・増改築部の取合危険場所(中規模)
- 撤去・解体時の災害(12件)
 - ・解体時の健康災害(小規模)
 - ・撤去、解体工事が伴うので、災害の頻度が高くなる(中規模)

- 工期・予算・場所等の制約による災害(11件)
 - ・作業範囲が狭い為の災害(小規模)
 - ・工期、金額、優先で安全面での配慮が少なくなる。(中規模)
 - ・狭小敷地に設置する不安定な足場からの墜落・転落災害(大規模)

- 設備の不備による災害(9件)
 - ・墜落災害(外装工場の足場が簡易的である)(小規模)
 - ・新築のように環境が整備できないケースが多い仮設足場の不良による転落(中規模)
 - ・狭小敷地に設置する不安定な足場からの墜落・転落災害(大規模)

- 第三者災害(住人)(7件)
 - ・一部しか工事しない場合、住みながら工事となり、材料や道具などで住んでいる人がケガをする可能性がある。(小規模)
 - ・解体工事等、予期せぬ出来事を行った時の連絡ミスでの災害防止。第3者災害等の発生が多くなる事が予想される為に無理の無い作業を徹底。(中規模)
 - ・リフォーム工事は比較的に安全対策を軽視しがちで(顧客も業者も)職人はもちろん住人(顧客)の事故も心配。(大規模)

- 電動工具使用による災害(7件)
 - ・電動工具による災害(小規模)
 - ・脚立等の高所からの落下災害 ・狭い場所での工具類によるケガ(中規模)
 - ・当初の工事店(作業員)以外の新規の作業員が多く、従前より安全衛生教育を受講していない手着かずの領域で、又従事する職種も常に解体と組立が伴ない切替が難しい。→具体的な災害:足場からの墜落、電動工具による切れ、梯子からの墜落(大規模)

- 転倒災害(6件)
 - ・脚立からの転落、転倒(小規模)
 - ・粉じん。電動工具によるもの。施工場所が既存宅内の為、狭く材料による転倒など。(中規模)
 - ・脚立等の簡易足場からの墜落及び転倒(大規模)

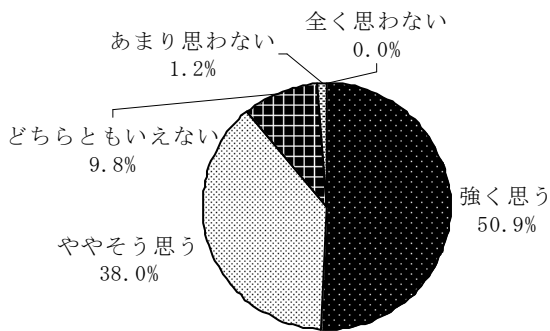
- アスベスト等、有害物質吸引災害(6件)
 - ・足場脚立等が簡易な状態の為、脚立共に転倒事故。狭い空間での塗装作業でシンナー換気対策の忘れ(換気)(中規模)
 - ・石綿粉じんばく露災害(大規模)

- 安全意識低下による災害(2件)
 - ・工期、金額、優先で安全面での配慮が少なくなる。(中規模)
 - ・リフォーム工事は比較的に安全対策を軽視しがちで(顧客も業者も)職人はもちろん住人(顧客)の事故も心配。(大規模)

問13. 建設現場の労働災害を防止するにはヒューマンエラー対策は重要だと思いますか。〔〇はひとつ〕

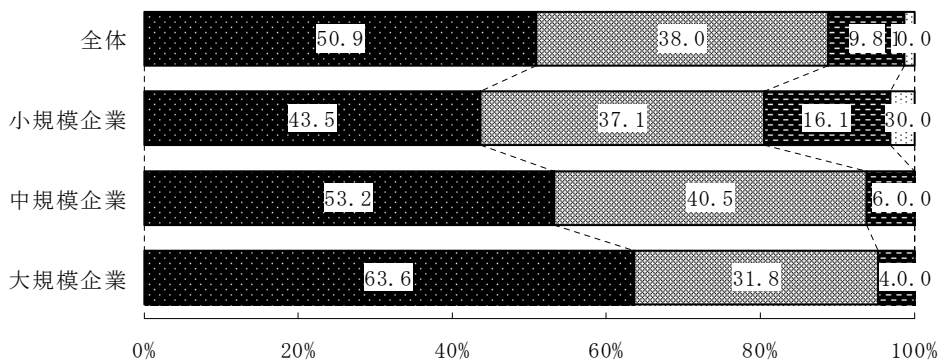
労働災害防止におけるヒューマンエラー対策の重要性について、「強く思う」が最も多く、50.9%(83件)となっている。次いで、「ややそう思う」が38.0%(62件)、「どちらともいえない」が9.8%(16件)となっている。

結果		件数	構成比率(%)
1	強く思う	83	50.9
2	ややそう思う	62	38.0
3	どちらともいえない	16	9.8
4	あまり思わない	2	1.2
5	全く思わない	0	0.0
	不明	5	
	全体	163	100.0



労働災害防止におけるヒューマンエラー対策の重要性について、すべての企業規模において「強く思う」が最も多くなり、小規模企業は43.5%(27件)、中規模企業は53.2%(42件)、大規模企業は63.6%(14件)となっている。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】					不明
		強く思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	全く思わない	
全体	163	83	62	16	2	0	5
	100.0	50.9	38.0	9.8	1.2	0.0	
小規模企業	62	27	23	10	2	0	5
	100.0	43.5	37.1	16.1	3.2	0.0	
中規模企業	79	42	32	5	0	0	0
	100.0	53.2	40.5	6.3	0.0	0.0	
大規模企業	22	14	7	1	0	0	0
	100.0	63.6	31.8	4.5	0.0	0.0	



■ 強く思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ あまり思わない ■ 全く思わない

問14. 建設現場では、どのようなヒューマンエラーが多いですか。具体的にご記入下さい。

建設現場で発生するヒューマンエラーについて、123社から144件の記述回答が得られた。これらのヒューマンエラーを8項目に分類した。小規模企業、中規模企業は「不注意」が最も多く、小規模企業は34.9%(15件)、中規模企業は36.7%(22件)、一方、大規模企業は「危険軽視、慣れ」が最も多くなり、65.0%(13件)となっている。

	合計	れ危険軽視、慣	不注意	錯覚	シミ連絡 ユニ ンニ ケ足 不足 (コ)	能近道 行 道 動・ 省略 本	験無 知、 不慣 れ、 未 経	集 団 欠 陥	そ の 他	不 明	【上段：回答数 下段：構成比(%)】	
全体	123	46	43	18	11	8	2	2	14	45		
	100.0	37.4	35.0	14.6	8.9	6.5	1.6	1.6	11.4			
小規模企業	43	12	15	7	5	0	0	2	7	24		
	100.0	27.9	34.9	16.3	11.6	0.0	0.0	4.7	16.3			
中規模企業	60	21	22	11	5	5	1	0	6	19		
	100.0	35.0	36.7	18.3	8.3	8.3	1.7	0.0	10.0			
大規模企業	20	13	6	0	1	3	1	0	1	2		
	100.0	65.0	30.0	0.0	5.0	15.0	5.0	0.0	5.0			

【記述回答例】(括弧内は回答企業規模)

○危険軽視、慣れ(46件)

- ・慣れによる思いこみ。だろう・だ・たらが見られる。(小規模)
- ・危険軽視からの事故が多い「ついうっかり」「慣れている」等、各下職の職長教育が出来ていないケースが多い。一人親方が多い、その行動を見ている従業員(親族)も同様の行動をする。(中規模)
- ・危険軽視、慣れによって、床面開口部の転落防止措置を行わずに作業するといったことがある。(大規模)

○不注意(43件)

- ・不注意による滑落等(小規模)
- ・足場に材料を置き忘れていたり、足場の一部を取りはずして元に戻していない。(中規模)
- ・予定工期に間に合わせる為に急ぐ慌てる行動から、注意力が散漫になり事故を引き起す。(大規模)

○錯覚(18件)

- ・指示をしたはず、作業をやったはず等、思い込みでの作業が多く見えるので、作業前打合せを必ず行う。(小規模)
- ・脚立やはしごを固定したのが固定していなくて転倒してケガをした。(中規模)

○連絡不足(コミュニケーション不足)(11件)

- ・いろんな職種の業社が入るため、コミュニケーションがないと事故につながる。(小規模)
- ・連絡、報告を相手側に伝わってない単純なミス(中規模)
- ・足場板、手摺等の取外し後の戻し忘れ。他の作業員への危険箇所の伝達不足。(大規模)

○近道・省略本能行動(8件)

- ・不注意、錯覚。単純作業による安全意識低下、工期がなくて急ぐ、近道をする等。(中規模)
- ・横着、近道行為(釘打ち機のトリガーを引きっぱなしにして、自身の足などに釘打ち機の先端が接触し、打ち抜くなど)(大規模)

○無知、未経験、不慣れ(2件)

- ・仕掛時、体の不訓れでのエラー、夕刻作業終了前頃、疲労によるミスエラー(中規模)
- ・危険の認識不足 未熟練、高齢者の機能低下、慣れて安全作業を甘くみる。(大規模)

○集団欠陥(2件)

- ・危険箇所の復旧・補修を率先して行わず、誰かがするだろうと思う者が多い、無責任(小規模)

問15. 建設現場の安全活動を進める上で、現状、元請会社に強く求められていることは何ですか。具体的に記入下さい。

安全活動を進める上で、元請会社に強く求められていることについて、139社から169件の記述回答が得られた。これらを12項目に分類した。すべての企業規模において、「作業員への安全教育・指導」が最も多くなり、小規模企業は39.2%(20件)、中規模企業は52.2%(35件)、大規模企業は52.4%(11件)となっている。

	【上段：回答数 下段：構成比(%)】													
	合計	作業員への安全教育	職場環境・作業環境の整備	安全意識の向上	統括的な安全管理の実施	工事の平準化(適正な納期・予算設定)	KYSメソッドの実施	巡回・監視(安全パトロール)	報告・連絡・打ち合わせの徹底	安全設備の設置	健康管理(健康診断)	作業手順書作成・遵守	その他	不明
全体	139	66	26	17	16	12	8	7	3	3	2	2	7	29
	100.0	47.5	18.7	12.2	11.5	8.6	5.8	5.0	2.2	2.2	1.4	1.4	5.0	
小規模企業	51	20	14	6	5	7	1	2	1	0	1	1	3	16
	100.0	39.2	27.5	11.8	9.8	13.7	2.0	3.9	2.0	0.0	2.0	2.0	5.9	
中規模企業	67	35	10	8	9	3	3	3	1	3	1	1	4	12
	100.0	52.2	14.9	11.9	13.4	4.5	4.5	4.5	1.5	4.5	1.5	1.5	6.0	
大規模企業	21	11	2	3	2	2	4	2	1	0	0	0	0	1
	100.0	52.4	9.5	14.3	9.5	9.5	19.0	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	

【記述回答例】(括弧内は回答企業規模)

○作業員への安全教育・指導(66件)

- ・木建現場での先行足場や昇降設備等の完備、職長教育受講者の推進による安全教育の徹底(小規模)
- ・業者教育指導と繰返し々の注意等の徹底(中規模)
- ・危険リスクの把握と対策の推進(設備の安全化)、協力会社への教育、現場の安全管理(大規模)

○職場環境・作業環境の整備(26件)

- ・作業員が安全に作業できる環境づくり→足場、作業灯、現場内の整理・整頓(小規模)
- ・適正な労働条件、作業環境の確保(作業工程、安全ミーティング、有資格者、整理整頓、その他現場のルール)(中規模)
- ・安全に対する環境作りと継続的な注意喚起(大規模)

○安全意識の向上(17件)

- ・安全活動に対しての意識を高く持つこと(小規模)
- ・下請業者への徹在した指導、元請側管理者、下請業者の番頭の安全に対する意識づけ、モラルの向上。(中規模)
- ・利益より安全確保の意識向上を元請、下請共に共有する。(大規模)

○統括的な安全管理の実施(16件)

- ・下請会社、下職方にまかせっきりにせず、率先して安全活動に取り組む事!(小規模)
- ・統括的な現場の安全対策(特に仮設施設)(中規模)
- ・施工計画に基づく、統括管理(大規模)

○工事の平準化(適正な納期・予算設定)(12件)

- ・適正な工期(小規模)
- ・工事の平準化及び適切な工期(中規模)
- ・適切な工期の確保と安全対策費用(大規模)

○KY 活動・リスクアセスメントの実施(8 件)

- ・KY 活動(小規模)
- ・リスクアセスメントの推進(中規模)
- ・コンプライアンスもさることながら、協力工事店への安全衛生に関する指導、援助を徹底していく事。危険管理(やらなければやらない事はある)とリスクアセスメント(やれる様に指導、援助し納得させてレベルアップする)のメリハリをつけた指導(大規模)

○巡回・監視(安全パトロール)(7 件)

- ・安全パトロールなどを行い作業現場で1つ1つ危険個所をつぶして行く。(小規模)
- ・毎日の現場巡回。その時の安全指導、及び記録。(中規模)
- ・安パトなど開催のリーダーシップ(大規模)

○報告・連絡・打ち合わせの徹底(3 件)

- ・報告、連絡、打ち合わせ(小規模)
- ・関連事業者との連携体制の強化(中規模)
- ・業者間の作業順序、分担の調整。(大規模)

○安全設備の設置(3 件)

- ・安全設備の充実、安全教育の実施(中規模)

○健康管理(健康診断、十分な休憩)(2 件)

- ・工期(仕事を急がせない)(健康管理)現場の整備(小規模)
- ・協力会社への指導強化と個々の作業員の安全、健康意識の徹底(中規模)

○作業手順書作成・遵守(2 件)

- ・安全基準に基づいた作業手順の厳守の教育の徹底(小規模)
- ・マニュアルに沿った施工、安全対策の徹底実施の管理(中規模)

問16. 建設現場の安全活動を進める上で、元請会社が協力会社に強く求めていることは何ですか。具体的に記入下さい。

安全活動を進める上で、元請会社が協力会社に強く求めていることについて、144社から171件の記述回答が得られた。これらを12項目に分類した。すべての企業規模において、「作業員への安全教育・指導」が最も多くなり、小規模企業は27.5%(14件)、中規模企業は27.8%(20件)、大規模企業は28.6%(6件)となっている。

		【上段：回答数 下段：構成比(%)】													
	合計	作業員への安全教育	安全意識の向上	作業手順書作成・遵守	職場環境・作業環境の整備	健康管理(健康診断、十分な休憩)	統括的な安全管理の実施	KY活動の実施	報告・連絡・打合せ	安全衛生活動の実施	正納期設定(適)	工事の平準化(適)	巡回・監視(安全)	その他	不明
全体	144 100.0	40 27.8	35 24.3	15 10.4	14 9.7	13 9.0	10 6.9	9 6.3	9 6.3	6 4.2	4 2.8	3 2.1	13 9.0	24	
小規模企業	51 100.0	14 27.5	12 23.5	3 5.9	5 9.8	5 9.8	4 7.8	1 2.0	6 11.8	0 0.0	2 3.9	0 0.0	7 13.7	16	
中規模企業	72 100.0	20 27.8	18 25.0	11 15.3	6 8.3	7 9.7	5 6.9	4 5.6	3 4.2	4 5.6	2 2.8	1 1.4	5 6.9	7	
大規模企業	21 100.0	6 28.6	5 23.8	1 4.8	3 14.3	1 4.8	1 4.8	4 19.0	0 0.0	2 9.5	0 0.0	2 9.5	1 4.8	1	

【記述回答例】(括弧内は回答企業規模)

- 作業員への安全教育・指導(40件)
 - ・作業員への徹底した指導(小規模)
 - ・下請業者への徹底した指導、元請側管理者、下請業者の番頭の安全に対する意識づけモラルの向上。(中規模)
 - ・職長の育成とスキルアップ(配置)(大規模)
- 安全意識の向上(35件)
 - ・各職方に対する安全意識の徹底(小規模)
 - ・元請が目指す安全管理を協力会社も同じ土台で目指してもらい、別々の安全管理ではなく、協力した目標だけでもそれぞれ意見を出しあった結果、より高い目標を掲げていければよい。(中規模)
 - ・協力会社事業主の安全意識向上、職長の現場での日常安全施工サイクル(大規模)
- 作業手順書作成・遵守(15件)
 - ・作業員の安全教育と作業手順書の作成(小規模)
 - ・作業手順書の作成及び手順書によるKY活動の完全実施(中規模)
 - ・作業手順の遵守(大規模)
- 職場環境・作業環境の整備(14件)
 - ・整理整頓を常に指導する。(小規模)
 - ・現場での作業員の安全、又、健康管理、快適な職場作り(中規模)
 - ・「まずは整理整頓から。」冷静な状態に身を置く事が出来て、危険予知や危険要因を取り除く事や作業効率も上げる事が可能。(大規模)
- 健康管理(健康診断、十分な休憩)(13件)
 - ・作業員の健康状態の報告(小規模)
 - ・協力会社の健康診断の実施等により、適正配置の実施(中規模)
 - ・資格及び安全教育 健康診断 労災保険(大規模)

- 統括的な安全管理の実施(10件)
 - ・先取りの安全の推進、適正な情報を管理(小規模)
 - ・会社が主体的に安全の取組を行うこと。(中規模)
 - ・元請の基本方針を十分理解した上で、ニーズに対応出来る工事力や品質、管理体制を構築する。(危機管理意識のレベルup、仕事の核である職員の育成又職員の元で作業者が育つ組織作り)(大規模)

- KY活動・リスクアセスメントの実施(9件)
 - ・KY活動(小規模)
 - ・作業手順書の作成及び手順書によるKY活動の完全実施(中規模)
 - ・職長による安全指導、リスクアセスメントの推進(大規模)

- 報告・連絡・打ち合わせ・周知(9件)
 - ・全員の職方への連絡伝達指導の徹底(小規模)
 - ・連携体制の強化(中規模)

- 安全衛生活動の実施(6件)
 - ・災害防止の為の安全活動の協力と協力業社の教育(中規模)
 - ・元請会社が行う安全活動への積極的参加と、協力会社の独自で行う安全活動(大規模)

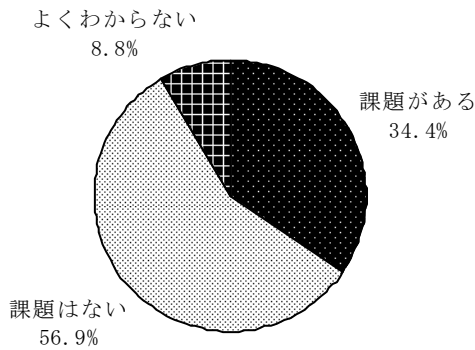
- 工事の平準化(適切な発注時期、適正な納期設定)(4件)
 - ・無理な作業(工期がないので、その日にかたずけてしまおう)(小規模)
 - ・適切な施工計画(中規模)

- 巡回・監視(安全パトロール)(3件)
 - ・安全パトロール等によって具体的な指示指導を実施<継続的实施>(中規模)
 - ・安パト、安全協議会の開催(大規模)

問17. 木造住宅工事では足場先行工法が普及していますが、現状、この工法の課題はありますか。

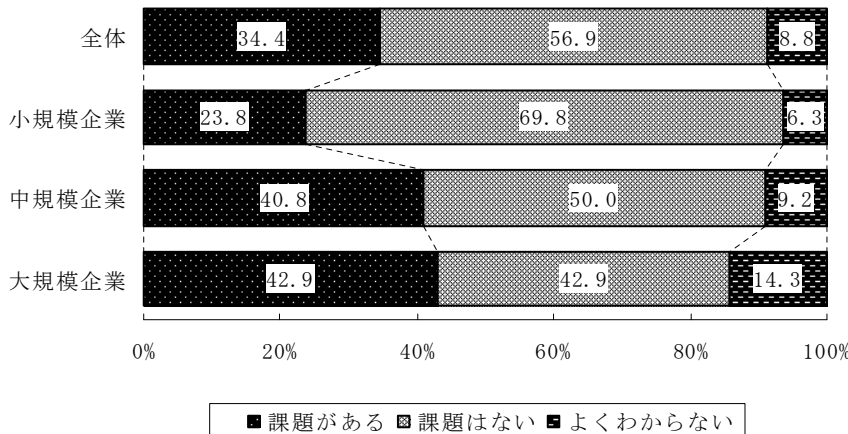
木造住宅工事での足場先行工法について、「課題はない」が最も多くなり、56.9%(91件)となっている。次いで、「課題がある」が34.4%(55件)となっている。

結果		件数	構成比率(%)
1	課題がある	55	34.4
2	課題はない	91	56.9
3	よくわからない	14	8.8
	不明	8	
	全体	160	100.0



木造住宅工事での足場先行工法について、すべての企業規模において「課題はない」が最も多くなり、小規模企業は69.8%(44件)、中規模企業は50.0%(38件)、大規模企業は42.9%(9件)となっている。大規模企業については、「課題がある」も同等となっている。

	合計	【上段：回答数 下段：構成比(%)】			
		課題がある	課題はない	よくわからない	不明
全体	160	55	91	14	8
	100.0	34.4	56.9	8.8	
小規模企業	63	15	44	4	4
	100.0	23.8	69.8	6.3	
中規模企業	76	31	38	7	3
	100.0	40.8	50.0	9.2	
大規模企業	21	9	9	3	1
	100.0	42.9	42.9	14.3	



問17. 木造住宅工事では足場先行工法が普及していますが、現状、この工法の課題はありますか。
 具体的にはどのような課題ですか。ご記入下さい。

木造住宅工事での足場先行工法における課題について、55社から59件の記述回答が得られた。これらの課題を6項目に分類した。小規模企業は「狭小地等での足場組み」が最も多くなり、く26.7%(4件)となっている。中規模企業、大規模企業は「足場上作業の安全対策」が最も多くなり、中規模企業は35.5%(11件)、大規模企業は44.4%(4件)となっている。

		【上段：回答数 下段：構成比(%)】						
	合計	安 全 場 対 上 策 作 業 の	足 狭 場 小 組 地 等 で の	整 ジ 作 ユ 業 ー ス ル ケ の 調	る 範 足 圍 場 が で 限 の ら 作 れ 業	安 全 場 対 組 立 時 の	そ の 他	不 明
全体	55 100.0	16 29.1	13 23.6	9 16.4	8 14.5	4 7.3	9 16.4	0
小規模企業	15 100.0	1 6.7	4 26.7	3 20.0	2 13.3	1 6.7	4 26.7	0
中規模企業	31 100.0	11 35.5	7 22.6	6 19.4	5 16.1	2 6.5	3 9.7	0
大規模企業	9 100.0	4 44.4	2 22.2	0 0.0	1 11.1	1 11.1	2 22.2	0

【記述回答例】（括弧内は回答企業規模）

○足場上作業の安全対策(16件)

- ・内手摺の問題。足場があれば安全と思って使ってしまう。(中規模)
- ・土地や建物の形状によっては足場が倒れる可能性がある(中規模)
- ・足場設置から作業完了までの期間に発生する強風による足場の倒壊(大規模)

○狭小地での足場組み(13件)

- ・場所等によって建方時は、一部足場の解体が必要になるので、対応がむずかしい。(小規模)
- ・レッカー作業等との組合せによって、どうしても一部後架する場合が有り、安全確保上問題である。(中規模)
- ・狭小地ではレッカー位置の関係で上部の先行足場が繋がらない。建方工事中は足場のメッシュシートがなく、部材等が周辺近隣に落下の危険性がある。(大規模)

○作業スケジュールの調整(9件)

- ・養生ネットの取付けるタイミング ※先行足場組立時に、同時には、ネットを張れない。後施工か、もしくは立地に巻き付け。(小規模)
- ・一時取はずし後の復旧が遅れる。出入り作業範囲がかぎられている。(中規模)

○足場での作業範囲が限られる(8件)

- ・レッカー車によるパネル建方時、足場に開口が発生(小規模)
- ・建物がない状態で施工するため、細かい部分で建物に合っていない箇所がでる。(中規模)
- ・出窓や付庇等最終形で足場架が行なわれる事が多く、その部分が足場開口となり、危険である。(大規模)

○足場組立時の安全対策(4件)

- ・強風時の対策、組立時の安全対策(小規模)
- ・2度ガケまで不安全な所が有る。(中規模)
- ・足場組立時の足場組立作業者の安全確保（墜落、転落防止）(大規模)

問18. 低層住宅建築工事において、中小建設業者の自主的な安全活動を促進させるためには、どのような方策が必要ですか。具体的にご記入下さい。

自主的な安全活動を促進させるための方策をとして、107社から187件の記述回答が得られた。これらの方策を13項目に分類した。すべての企業規模において「安全教育・指導」が最も多くなり、小規模企業は50.0%(20件)、中規模企業は57.7%(30件)、大規模企業は73.3%(11件)となっている。

	合計	導 安全 安 教育・指 指	上 安全 安 意識の向 向	ロ (巡 ー 安回 ル 全・監 ー) パト ト 視	ンスK トクY の ア活 実 セ 動 施 ス・ メ リ	周 打 報 知 ち 告 合 ・ 連 わ せ 絡 せ ・ ・	成 作 業 業 ・ 手 遵 順 守 書 作	災 害 防 止 対 策
全体	107	61	34	23	16	11	9	7
	100.0	57.0	31.8	21.5	15.0	10.3	8.4	6.5
小規模企業	40	20	15	7	3	4	4	5
	100.0	50.0	37.5	17.5	7.5	10.0	10.0	12.5
中規模企業	52	30	16	14	9	7	3	2
	100.0	57.7	30.8	26.9	17.3	13.5	5.8	3.8
大規模企業	15	11	3	2	4	0	2	0
	100.0	73.3	20.0	13.3	26.7	0.0	13.3	0.0
	合計	業 職 環 場 境 環 の 境 整 ・ 備 作	の 足 実 場 施 先 行 工 法	期 (工 ・ 適 事 予 正 な 平 算) 工 準 工 化	な 康 健 休 診 康 憩 断 管 (理 十 分 健	置 安 全 安 設 設 備 の 設	そ の 他	不 明
全体	107	6	6	4	3	3	4	61
	100.0	5.6	5.6	3.7	2.8	2.8	3.7	
小規模企業	40	3	5	3	1	1	1	27
	100.0	7.5	12.5	7.5	2.5	2.5	2.5	
中規模企業	52	2	0	1	2	1	3	27
	100.0	3.8	0.0	1.9	3.8	1.9	5.8	
大規模企業	15	1	1	0	0	1	0	7
	100.0	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	

【記述回答例】(括弧内は回答企業規模)

○安全教育・指導(61件)

- ・まさかと思う簡単な事から大きな事故に成るケースが有るので、きめ細かい指導が必要と思われる。(小規模)
- ・元請会社と協力会社が協業して職方をまきこんで、安全パトロール、研修会、講習会をくり返し行い、安全意識の維持・向上を図る。(中規模)
- ・1. 職長教育、リスクアセスメント等の教育、普及 2. 雇入時教育、新規入場者教育の徹底 3. 現場1人KYの推進 (大規模)

○安全意識の向上(34件)

- ・定期的に各職方全体による業者会議を行う。それに合わせて安全パトロールを実施、各安全週間には業者代表者による安全パトロール協議会を行う。それにより、各職長及び代表者から各職方全体に安全に対する意識の向上を図る。(小規模)
- ・会社の経営トップの安全意識向上と協力業社トップの安全に対する理解を求める事。現場代理人レベルでは限界があると思います。(中規模)
- ・定期的に安全に対する意識を向上させる事と、事故の事例を基に改善をはかる事。(大規模)

- 巡回・監視(安全パトロール) (23 件)
 - ・安全衛生教育への参画 現場パトロールの実施 (小規模)
 - ・定期的な安全パトロール、業者会の実施により、元請、下請けが一体となった意識付け及び適正な工期・工程組みが必要。(中規模)
 - ・低層住宅建築の労働災害に高い比率で発生する墜落事故に対し外部作業(足場、建方、屋根、外壁)における安全作業マニュアルを策定し、各工事店、作業員への指導を確実に行う。定期パトロールによりマニュアルに沿った作業の確認や是正、補足を行い、安全活動の促進を図る。(大規模)
- KY活動・リスクアセスメントの実施(16 件)
 - ・1. 作業員による安全施工サイクルの厳守 2. 危険予知訓練 3. ツールボックスミーティングの実施 4. 指差呼称 5. 安全朝礼点検の実施 6. 安全点検の実施等 上記を必ず実施させる様指導教育を実施する。(小規模)
 - ・KY活動をくり返して実施して行くこと。(中規模)
 - ・下請会社、各社の職域(業種)作業に沿ったリスクアセスメントの実施(大規模)
- 報告・連絡・打ち合わせ・周知(11 件)
 - ・定期的に各職方全体による業者会議を行う。それに合わせて安全パトロールを実施、各安全週間には業者代表者による安全パトロール協議会を行う。それにより、各職長及び代表者から各職方全体に安全に対する意識の向上を図る。(小規模)
 - ・定期的な安全パトロール、業者会の実施により、元請、下請けが一体となった意識付け及び適正な工期・工程組みが必要。(中規模)
- 作業手順書作成・遵守(9 件)
 - ・安全活動実施マニュアル、チェックリストがあれば継続して活動できると思う。(小規模)
 - ・①会社の安全管理責任者出席のもとに、現場責任者、職長が一同に会し、工事開始前の安全管理計画、目標を立て実行する。②標準作業手順書を現場条件に合わせて修正する。(中規模)
 - ・低層住宅建築の労働災害に高い比率で発生する墜落事故に対し外部作業(足場、建方、屋根、外壁)における安全作業マニュアルを策定し、各工事店、作業員への指導を確実に行う。定期パトロールによりマニュアルに沿った作業の確認や是正、補足を行い、安全活動の促進を図る。(大規模)
- 災害防止対策(7 件)
 - ・先行足場の安全実施と開口部の安全養生、安全ネットの架設等、職人の墜落・転落防止を徹底させること。(小規模)
 - ・元請の工事管理者がいつも現場にいない為、どうしても下請施工者の安全に対する意識を高める必要があります。また、大きな災害に結びつく可能性のある(高い)工事に対して、セーフティーネットをかける事を徹底する。落ちてネットにかかる対策を講じる事!(中規模)
- 職場環境・作業環境の整備(6 件)
 - ・適正な工期での職場及作業環境の向上(小規模)
 - ・建労織組での勉強会、現地KYの充実、社内安全教育の充実、5Sの徹底(中規模)
 - ・1. ヒューマンエラー対策に重点を置き、反復・継続によって安全活動を促進させる。 2. ヒューマンエラーへの事前対策として前述の整理整頓に重きを置き啓発に努める。(大規模)
- 足場先行工法の実施(6 件)
 - ・先行足場の安全実施と開口部の安全養生、安全ネットの架設等、職人の墜落・転落防止を徹底させること。(小規模)
 - ・法で努力義務化されたリスクアセスメントの手法で、毎年安全方針を自ら立て、都度改善させて行く事の積み重ねが考えられると思います。また職人は楽な現場に流れる傾向があり、楽な現場(=細かい事を言わない)の劣悪な環境下で仕事をさせている業者こそ改善するように国で取り組んでもらえたら良いと思います。(全国的には未だに先行足場無しで建方工事をしている業者は、いくらでもあります。そこを解決せずに、足場手スリの中さんを義務化(法制化)するなど、一所懸命ついでに行っている業者(メーカー含む)にばかり負担がかかるような方策では、いつか破綻が出ると思います。企業や業者の力量や基盤に合ったリスクアセスメントの手法を活かすべきだと思います。)(大規模)

- 工事の平準化(適正な工期・予算) (4件)
 - ・適正な工期での職場及作業環境の向上(小規模)
 - ・定期的な安全パトロール、業者会の実施により、元請、下請けが一体となった意識付け及び適正な工期・工程組みが必要。(中規模)

- 健康管理(健康診断、十分な休憩) (3件)
 - ・①景気の回復が一番です。理由 (イ) 価格が厳しいとどうしても無理をする(作業時間、人員) (ロ) 工期を短縮しようとする (ハ) 安全対策迄予算が廻らない ②定期的な健康診断を義務づける。(イ) 高齢の為、成人病の心配がある (ロ) 若年層も食生活の変化で体調維持が難しくなっている。(小規模)
 - ・体力測定の実施と高所作業の年齢制限(中規模)

- 安全設備の設置(3件)
 - ・①安全指導を定期的に行なう ②安全パトロール ③ハード面での安全対策(例 梯子の使用は避け、仮設階段の使用の徹底等 2階は防護手スリの設置等 ④現場代理人の指導力 ⑤現場代理人への安全教育(小規模)
 - ・当然安全第一はだれもが意識して仕事しているが、無尽蔵に安全に対し、お金や手間をかける事も出来ない。安全衛生法をもって具体的にしなければならぬ事を限定し、罰則についても明確にすれば取り組みもしやすくなる。消費者が安全作業や安全設備の重要性をもっと強く意識出来る環境をつくる。経営審査の内容に”安全への取組”を入れる。(中規模)
 - ・作業員に安全教育を行い、安全に対する意識を高める。安全に関する予算を計上し、安全設備を充実させる(大規模)

資料 アンケート調査票

低層住宅建築工事における安全活動の実態に関するアンケート調査

調査主体 (独)労働安全衛生総合研究所
主任研究員 高木 元也

本調査は低層住宅建築工事の自主的な安全活動の促進方策を検討することを目的に、低層住宅建築工事の元請会社の方を対象に安全活動の実態と課題についてお伺いするものです。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査にご協力いただき、ご回答下さいますようお願い申し上げます。

ご回答いただいた方には調査結果をご提供致します(6~7月頃予定)。今後の貴社の安全活動にお役立ていただければ幸いです。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、本調査以外の目的に使用することはございません。また、個人情報保護に関連する法令、ガイドライン、その他の関連法令を遵守し、所定の規則に従い適切に取り扱います。

<ご記入にあたって>

- ◎ご記入は貴社の労務安全管理を総合的にご担当されている方をお願いします。
- ◎ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、平成20年3月7日(金)までにご投函をお願いします。
- ◎ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。
(株)帝国データバンク産業調査部 担当：太刀川 TEL:03-5775-3164 FAX:03-5775-3168
※本調査は(株)帝国データバンクに調査の一部を委託し実施しております。

貴社についてお伺いします。

貴社名			
従業員数	人	直近の年間完成工事高	百万円

ご連絡先をご記入下さい。

ご記入者名			
所属部署		役職	
住所	〒		
電話番号		E-mail	

◆貴社の安全衛生管理活動について

問1. 貴社には、店社（本支店、営業所等）で安全衛生管理業務を担当（専任はもとより他業務との兼務も含みます）している人は何人いますか。 [〇はひとつ]

1. 0人	2. 1人～2人	3. 3人～4人	4. 5人～9人	5. 10人以上
-------	----------	----------	----------	----------

問2. 安全衛生管理業務を担当している人の数は3年前と比べて変わりましたか。 [〇はひとつ]

1. 増加した	2. ほとんど変わらない	3. 減少した
---------	--------------	---------

問3. 貴社の安全衛生管理活動への取り組みは、5年前と比べて変わりましたか。 [〇はひとつ]

1. より活発になった	2. ほとんど変わらない	3. 後退した
-------------	--------------	---------

問4. 最も重点的に安全対策を進める必要があるのは、どのような作業のどのような労働災害についてですか。具体的に2件ご記入下さい。

どのような 作業 →	
どのような 労働災害 →	

どのような 作業 →	
どのような 労働災害 →	

問5. 建設現場の安全対策を進める上で、最も重要な課題は何ですか。具体的にご記入下さい。

--

◆現場の危険性について

問6. 建設現場の労働災害を防止するため、以下の①～⑧はどの程度重要だと思いますか。 [それぞれ〇はひとつ]

	とても重要 である	やや重要で ある	どちらとも いえない	あまり重要 ではない	全く重要で はない
① 適正な工期	5	4	3	2	1
② 適正な予算	5	4	3	2	1
③ 工事の施工方法	5	4	3	2	1
④ 元請会社の施工管理能力	5	4	3	2	1
⑤ 協力会社の施工力	5	4	3	2	1
⑥ 職長の指導力	5	4	3	2	1
⑦ 作業員の安全行動	5	4	3	2	1
⑧ 敷地面積の広さ	5	4	3	2	1
⑨ 建物の形状	5	4	3	2	1
⑩ 現場周辺環境	5	4	3	2	1

◆危険性・有害性の調査等について

平成18年4月、改正労働安全衛生法の施行に伴い、危険性・有害性の調査等（リスクアセスメント）が努力義務化されましたが、以下、リスクアセスメントについてお伺いします。

問7. 貴社ではリスクアセスメントを実施していますか。〔〇はひとつ〕

- | |
|--------------------------|
| 1. 実施している |
| 2. 実施していないが、現在、実施を検討中である |
| 3. 実施も検討もしていない |
| 4. その他（具体的に： _____） |

問8. 【問7で「1. 実施している」と回答された方にお伺いします。】

リスクアセスメント実施上の課題は何ですか。具体的にご記入下さい。

--

問9. 【問7で「3. 実施も検討もしていない」と回答された方にお伺いします。】

その理由は何ですか。〔〇はひとつ〕

- | |
|--------------------------|
| 1. リスクアセスメントの実施方法がわからない |
| 2. リスクアセスメントを実施する人的余裕がない |
| 3. リスクアセスメントは面倒だ |
| 4. リスクアセスメントの必要性を感じていない |
| 5. その他（具体的に： _____） |

◆現場の安全教育、安全活動

問10. 以下、①～⑫の安全教育、安全活動をどの程度実施していますか。5段階評価でお答え下さい。

〔〇はひとつ〕

	とても積極的に実施している	ある程度積極的に実施している	実施している	多少は実施している	実施していない
① 現場責任者の安全教育	5	4	3	2	1
② 職長の安全教育	5	4	3	2	1
③ 作業員の安全教育	5	4	3	2	1
④ KY活動	5	4	3	2	1
⑤ 安全パトロール	5	4	3	2	1
⑥ 作業員の健康管理	5	4	3	2	1
⑦ 高齢者の安全対策	5	4	3	2	1
⑧ 作業手順書の作成・遵守	5	4	3	2	1
⑨ 新規入場者教育	5	4	3	2	1
⑩ 協力会社の送出し教育の指導	5	4	3	2	1
⑪ 協力会社経営者への安全指導	5	4	3	2	1
⑫ 快適な職場環境・作業環境構築	5	4	3	2	1

◆高齢者の労働災害

問 11. 高齢者の労働災害を心配していますか。[〇はひとつ]

1. かなり心配している 2. 少し心配している 3. 心配していない 4. よくわからない	} →	心配される災害を具体的にご記入下さい。
---	-----	---------------------

◆リフォーム工事の労働災害

問 12. 最近、リフォーム工事が増加していますが、新築とは異なるリフォーム工事特有の労働災害が増加することを心配していますか。[〇はひとつ]

1. かなり心配している 2. 少し心配している 3. 心配していない 4. よくわからない	} →	心配される災害を具体的にご記入下さい。
---	-----	---------------------

◆ヒューマンエラー対策

問 13. 建設現場の労働災害を防止するにはヒューマンエラー対策は重要だと思いますか。[〇はひとつ]

1. 強く思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない	4. あまり思わない	5. 全く思わない
---------	-----------	--------------	------------	-----------

問 14. 建設現場では、どのようなヒューマンエラーが多いですか。具体的にご記入下さい。

◆元請会社の安全活動

問 15. 建設現場の安全活動を進める上で、現状、元請会社に強く求められていることは何ですか。具体的にご記入下さい。

問 16. 建設現場の安全活動を進める上で、元請会社が協力会社に強く求めていることは何ですか。具体的にご記入下さい。

◆足場先行工法について

問 17. 木造住宅工事では足場先行工法が普及していますが、現状、この工法の課題はありますか。

1. 課題がある 2. 課題はない 3. よくわからない	→	具体的にはどのような課題ですか。ご記入下さい。
------------------------------------	---	-------------------------

◆中小建設業者の安全活動促進方策

問 18. 低層住宅建築工事において、中小建設業者の自主的な安全活動を促進させるためには、どのような方策が必要ですか。具体的にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました